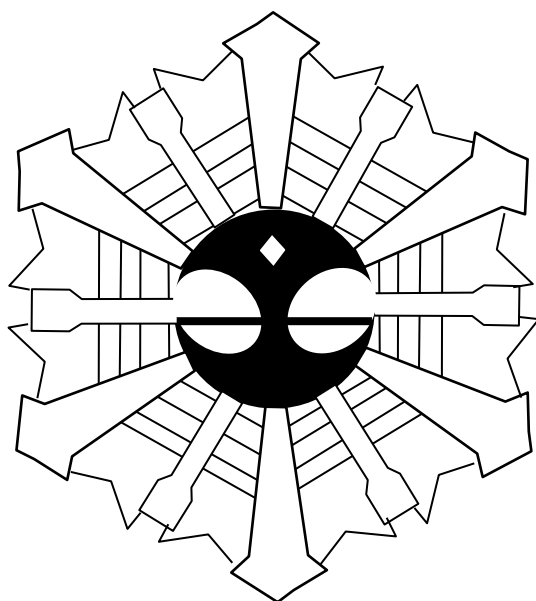


消防年報



水と緑と伝統 みんなつながり みんなうるおう 豊かさ実感都市 犬山

令和8年版

犬山市消防本部

犬 山 市 民 憲 章

わたしたちのまち犬山市は、緑豊かな丘陵や木曾の清流と古城に代表される歴史的な文化遺産にはぐくまれ、先人のたゆまぬ努力と勤勉により発展してきました。

わたしたちは、この輝かしい郷土犬山に誇りと責任を持ち、みんなで力を合わせ、明るく豊かな住みよいまちづくりをすすめることを願って、この市民憲章を定めます。

1. 城と川と緑を守り、美しいまちをつくりましょう。
1. 教養を深め、文化のかおり高いまちをつくりましょう。
1. 力を合わせ、活力のある豊かなまちをつくりましょう。
1. いのちを大切にし、明るく住みよいまちをつくりましょう。
1. きまりを守り、心のかよう温かいまちをつくりましょう。

(昭和59年4月1日制定)

市の木「かなめもち」
市の花「さくら」

昭和49年市制20周年を記念して、市の木・市の花を制定しました。

昭和59年市制30周年を記念して、「犬山市の歌」を作成しました。
(犬山市の公式ホームページ上で視聴できます)

は　じ　め　に

この統計資料は、令和7年度の
消防諸般の現況を主としてまとめ
たもので、今後の消防対策の参考
とするものであります。

なお、資料は特に記載してある
ものを除き、令和8年4月1日をも
って作成しました。

令和8年8月

犬山市消防本部

『火の確認』

いい日を支える

いい習慣』

二〇二六年度 『全国統一防火標語』

目 次

1. 犬山市の概要		5. 火災概況	
○犬山市の位置	1	○令和7年犬山市火災統計	
○犬山市消防本部（消防署）の位置	2	月別火災概況	3 1
○消防本部（消防署）の沿革	3	○出火原因別・ワースト順位	3 2
○消防団の沿革	8	○地区別・出火件数	3 2
○令和7年度主要行事实施表	1 3	○時間別・出火件数	3 3
		○過去5年の火災発生状況	3 3
2. 予 算		○出動人員等状況表	3 3
○犬山市一般会計予算及び消防予算	1 5	6. 予防・危険物	
○消防費市民負担換算額	1 5	○防火対象物一覧表	3 4
○令和8年度一般会計予算	1 6	○用途別同意件数・防火査察件数表	3 5
○消防団員の報酬, 費用弁償, 出動報酬	1 6	○製造所等の危険物数量・類別一覧表	3 6
3. 機関・人事		○各種届出状況表	3 6
○犬山市の消防機構	1 7	○危険物規制事務に係る申請件数及び	
○消防本部事務分掌	1 8	防火査察件数状況表	3 7
○消防署事務分掌	1 9	7. 救急・救助統計	
○消防職員勤続年数表	2 0	○令和6年・令和7年救急出動統計表	3 8
○消防職員年齢・階級別表	2 0	○事故種別比率表	3 8
○消防職員教育実施状況表	2 1	○P A連携事故種別比率表	3 9
○歴代消防長・消防署長	2 2、2 3	○年齢・程度別搬送人員	3 9
○消防団員の編成及び装備表	2 4	○時間別出動件数	4 0
○消防団員勤続年数表	2 5	○月別出動件数	4 0
○消防団員年齢表	2 6	○曜日別出動件数	4 0
4. 施設・機械		○救急講習会実施状況	4 1
○消防庁舎等の施設表	2 7	○事故種別救助出動件数	4 2
○消防機械一覧表	2 8	○事故種別救助出動車両状況	4 2
○消防水利現況表	2 9	8. 通信・気象統計	
○犬山市消防施設配置図	3 0	○月別気象状況表	4 3
		○月別降雨量	4 4
		○尾張中北消防指令センター119番	
		受信状況	4 5

犬山市は昭和29年4月1日、犬山町、城東村、羽黒村、楽田村、池野村の1町4村が合併し、全国で366番目、県下では16番目の市として誕生しました。

現在、犬山市は国宝犬山城や国宝茶室如庵、犬山祭、木曽川うかいなど多くの歴史的・文化的資源を持つ国内でも有数の観光文化都市です。

歴史的遺産を災害から守り、安全で安心な住みよい市民生活を支えるため、消防本部、消防署、消防団が設置されています。



（桜と犬山城）

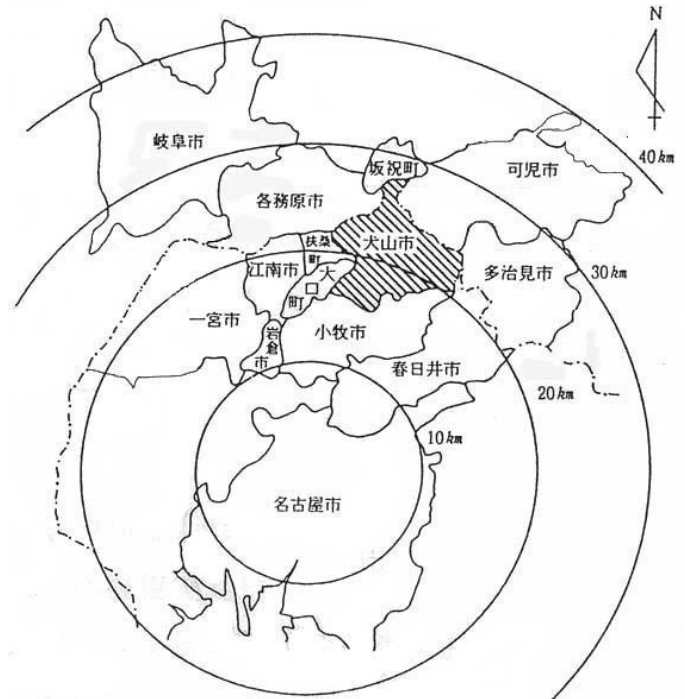
- 犬山市の位置
- 犬山市消防本部（消防署）の位置
- 消防本部（消防署）の沿革
- 消防団の沿革
- 令和7年度主要行事实施表

犬山市の位置

本市は、愛知県の最北端、東経136度57分、北緯35度23分に位置し、市域の北側は木曽川を隔て岐阜県の各務原市・坂祝町と接し、東側は岐阜県の可児市・多治見市、南側は小牧市・春日井市、西側は扶桑町・大口町とそれぞれ接しています。

市の西部は濃尾平野の一部をなし、市街地、農地、工業地として利用され、北部及び東部の自然豊かな丘陵山林地帯は木曽川を中心として、すばらしい山川の調和美をみせ、飛騨木曽川国定公園に指定されています。

本市は、まちの将来像である「水と緑と伝統 みんなつながり みんなうるおう 豊かさ実感都市 犬山」の実現を目指しています。



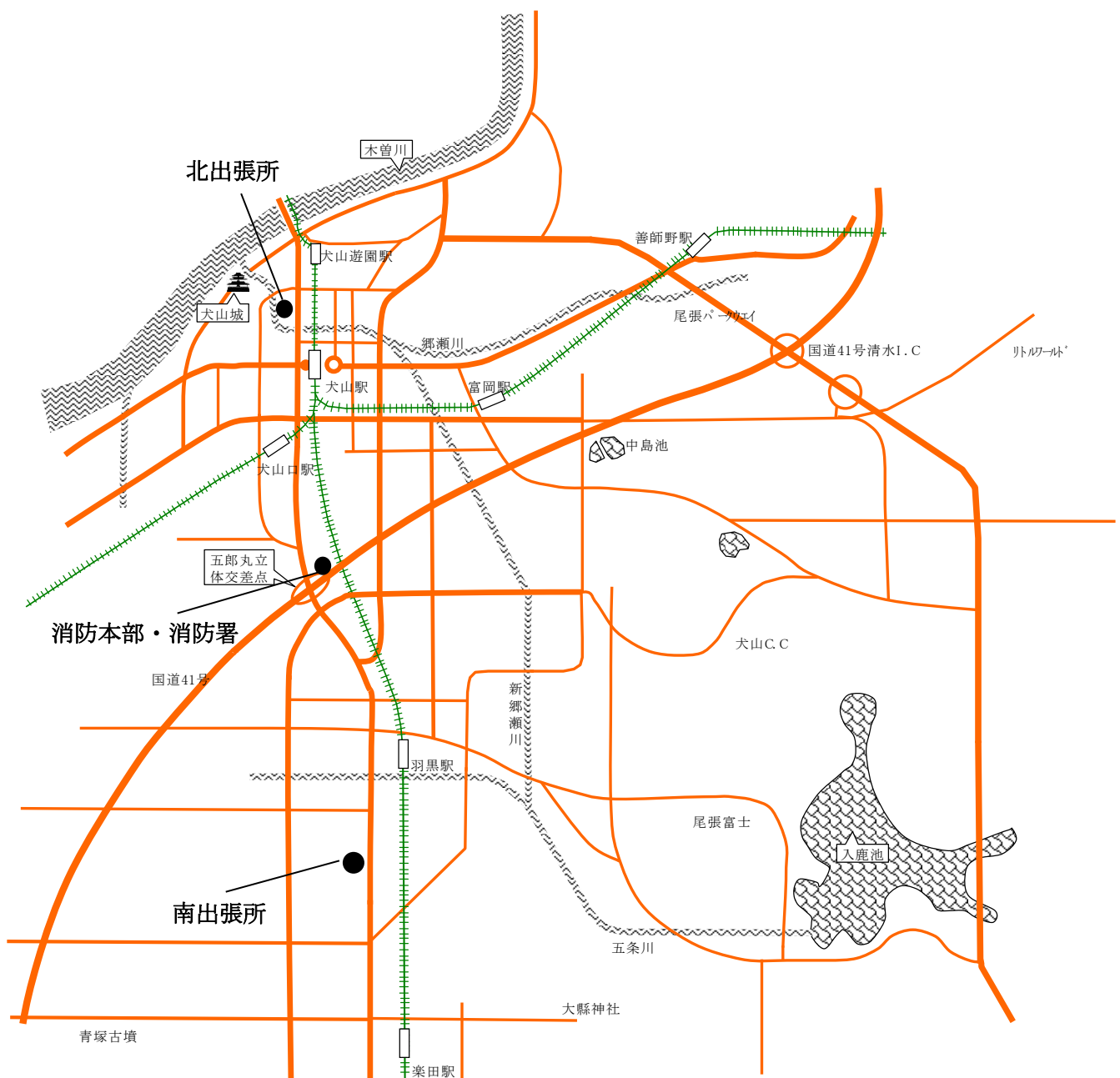
(令和8年4月1日現在)

面 積	人 口	世 帯 数
74.90 平方キロメートル	70,779 人	32,384 世帯

犬山市消防本部（消防署）の位置

犬山市消防本部 消防署	犬山市大字五郎丸字下前田 1 番地	TEL 65-0119(代) FAX 65-3127
犬山市消防署北出張所	犬山市大字犬山字身打田 1 1 番地 5	TEL 61-0999 FAX //
犬山市消防署南出張所	犬山市大字羽黒新田字上島 3 8 番地 1 5	TEL 68-0119 FAX //

E-mail 060100@city.inuyama.lg.jp(消防本部 消防総務課)



消防本部（消防署）の沿革

年 月 日	項 目
昭和	
39. 1. 23	消防本部（消防署）設置計画により庁舎起工
39. 5. 20	同上庁舎竣工（犬山市大字犬山字高見町15番地）
39. 6. 1	犬山市消防本部設置（職員8名、車両2台）
39. 10. 20	犬山市消防署設置（職員16名に増員）
40. 2. 1	岐阜県各務原市及び小牧市と消防相互応援協定締結
40. 4. 1	消防職員24名 消防本部及び消防署の設置について政令指定を受ける。
40. 11. 15	救急業務を開始
41. 6. 1	消防無線局設置（基地局1、移動局2）
42. 5. 1	春日井市と消防相互応援協定締結
43. 8. 19	飛騨川バス転落事故による遭難者捜索活動実施 （9月11日打ち切り）
43. 10. 11	同上により、愛知・岐阜両県知事から感謝状を受ける。
44. 4. 1	江南市と消防相互応援協定締結
45. 2. 2	消防機構を改革し、1本部（庶務、警防、予防、消防の4係） 1署（第1、第2の2警備隊）制度として、本部専任職員を配置
	岐阜県可児町（現可児市）と消防相互応援協定締結
46. 4. 1	消防署用超短波無線局開設（FM 150.19MHz）
46. 11. 6	従来の短波無線局を廃止（基地局1、移動局7、携帯局3） 気象観測施設の購入整備が完了し、同日より観測を開始
47. 6. 1	岐阜県可茂消防事務組合と消防相互応援協定締結
49. 9. 1	新庁舎（犬山市大字五郎丸字下前田1番地）へ移転
49. 11. 20	消防機構の一部改正により従来の消防署を北出張所とした。
54. 11. 1	丹羽消防組合（現丹羽広域事務組合）と消防相互応援協定締結
55. 3. 5	消防庁長官表彰（消防表彰規程により消防庁長官から竿頭綬を 授与され表彰を受ける。）

年 月 日	項 目
58. 3. 25	消防本部車庫として鉄骨造2階建95.6平方メートル 新築
58. 7. 1	消防長専任となる。
58. 7. 18	岐阜県多治見市と消防相互応援協定締結
58. 10. 1	消防本部、署の機構改革を実施 (消防本部4係、消防署に当直司令を置き、6係制とする。)
59. 10. 9~15	常備消防発足20周年記念行事実施
61. 4. 1	消防本部、署の機構改革を実施(本部に庶務課を新設)
62. 2. 20	消防本部(署、通信指令室)庁舎鉄骨造2階建94.4平方メートル増築する。
63. 2. 20	犬山市役所分庁舎に消防署北出張所(犬山市大字犬山字東古券334番地1)を移転し、常駐体制とし職員13名を配置
63. 3. 29	消防緊急情報システムⅡ型導入
平成	
2. 4. 1	愛知県下広域消防相互応援協定締結
3. 3. 1	災害弱者緊急通報システム運用開始
5. 2. 19	救助資機材倉庫改築 (鉄骨造2階建、延べ面積106.92平方メートル)
6. 2. 22	高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を購入、消防署に配置
6. 4. 1	消防本部の機構改革を実施(予防課を新設)
6. 8. 3	名古屋空港中華航空機墜落事故(平成6年4月26日)の活動 に対して運輸大臣から感謝状を授与される。
7. 1. 18~22	阪神淡路大震災消防応援
3. 4~20	
8. 12. 4	高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を購入、消防署に配置
8. 12. 4	はしご自動車(38メートル級)を購入、消防署に配置
9. 3. 24	消防庁舎に食堂棟(鉄骨造1階建70.09平方メートル)及び救助資機材倉庫に同倉庫(鉄骨造1階36.0平方メートル)を増築

年 月 日	項 目
9. 4. 1	消防本部の機構改革を実施 (予防課を予防防災課とし防災係を新設)
9. 12. 18	高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を購入、保有台数が3台となる(消防署 2台、北出張所 1台配置)。
10. 4. 1	消防本部・署の機構改革を実施 (係制を廃止しグループ制の導入)
11. 3. 5	消防庁長官より表彰旗を授与され表彰を受ける。
14. 3. 29	消防庁舎に通信指令室棟(鉄骨造2階建68.92平方メートル)を増築し、消防緊急通信指令システム運用開始
14. 4. 1	消防署の機構改革を実施 (北出張所の署長補佐を常駐体制とし、職員14名となる。)
15. 12. 10	消防庁舎の耐震等改修工事を実施
16. 1. 29	高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を購入、消防署北出張所に配置、保有台数が4台となる。 (消防署3台(うち1台は非常用)、北出張所1台)
16. 4. 1	予防防災課防災担当及び消防署に主幹を置く。
16. 11. 1~6	新潟県中越地震消防応援
17. 4. 1	市の機構改革により、防災事務を環境部交通防災課に移管
18. 4. 1	市の機構改革により、防災事務を総務部総務課へ移管
18. 4. 1	高規格救急自動車の配置を見直し、保有台数を3台とする。 (消防署2台、北出張所1台)
18. 4. 1	消防吏員の階級を「消防吏員の階級準則」(昭和37年消防庁告示第6号)に適合させた(関係規則並びに規程の一部改正を実施)。
19. 4. 1	地方自治法(昭和22年法律第67号)の一部改正により、吏員その他の職員が廃止されたことに伴い、犬山市職員定数条例を一部改正し、消防部局の職員定数を消防職員79名とした。
20. 4. 1	犬山市職員定数条例を一部改正し、消防部局の職員定数を91名とした。

年 月 日	項 目
20. 4. 1	住宅用火災警報器・設備の義務化に伴い、高齢者世帯等一定の条件を満たす弱者世帯に対して、設置に係る補助事業を開始した（期間、平成23年度までの3年間）。
21. 4. 1	消防本部の機構改革を実施（消防本部に救急通信課を新設及び消防署の主幹に替え副署長（2名）を置く。）
22. 3. 10	消防活動二輪車を2台購入、消防署本署に配置
22. 7. 15～16	犬山市集中豪雨災害 出動車両及び人員（消防本部23台85人、消防団6台63人） 避難勧告及び指示（11地区1,635人） 死者行方不明者（0人）
23. 3. 13～16	東日本大震災緊急消防援助隊（消火隊）出動（宮城県亶理郡亶理町消防本部） 計1回
23. 3. 13～4. 12	東日本大震災緊急消防援助隊（後方支援隊）出動（宮城県亶理郡亶理町消防本部） 計9回
23. 4. 1	消防署南出張所（犬山市大字羽黒新田字上島38番地15）を開設、常時体制として職員12名を配置。高規格救急自動車、化学車各1台を配置
24. 1. 27	消防ポンプ自動車1台購入、消防署本署に配置
27. 9. 2	指揮車1台を購入、消防署本署に配置
27. 11. 24	年中無休24時間営業のコンビニエンスストアとAED設置に関する協定を締結（平成27年12月1日運用開始）
28. 4. 1	消防本部の機構改革を実施 （消防総務課、予防課、消防署の2課1署体制） 尾張中北消防指令センターを開設し、6消防本部により通信業務を共同化（犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、丹羽広域事務組合、西春日井広域事務組合）
29. 1. 25	高規格救急自動車を1台購入。消防署北出張所に配備。
29. 4. 1	犬山市職員定数条例を一部改正し、消防部局の職員定数を97名とした。
30. 7. 9～12	平成30年7月豪雨 緊急消防援助隊（消火隊）出動（岡山県

	倉敷市真備地区) 計 1 回
年 月 日	項 目
3 0 . 1 0 . 1	消防署北出張所（犬山市大字犬山字身打田 1 1 番地 5）に移転
3 1 . 1 . 2 5	高規格救急自動車を 1 台購入。消防署南出張所に配備。
3 1 . 4 . 1	犬山市職員定数条例を一部改正し、消防部局の職員定数を 1 0 3 名とした。
令和	
2 . 3 . 1 9	水槽車を 1 台購入。消防署本署に配備。
3 . 2 . 2 4	高規格救急自動車を 1 台購入、消防署本署に配置。4 台体制となる。
3 . 7 . 13~16	静岡県熱海市土石流災害 緊急消防援助隊（後方支援隊）出動（静岡県熱海市）計 1 回
4 . 2 . 2 2	梯子車を 1 台購入。消防署本署に配備。
5 . 4 . 1	犬山市職員定数条例を一部改正し、消防部局の職員定数を 1 2 0 名とした。 消防署企画調整担当に副署長を置く。
5 . 9 . 5	水槽付消防ポンプ自動車を 1 台購入。消防署北出張所に配備。
6 . 1 . 1~25	令和 6 年能登半島地震 緊急消防援助隊（特殊装備隊）出動（石川県輪島市門前町）計 8 回
6 . 1 . 10~12	令和 6 年能登半島地震 緊急消防援助隊（後方支援隊）出動（石川県輪島市門前町）計 1 回
6 . 7 . 1	救助工作車を 1 台購入、消防署本署に配置。
7 . 3 . 1 9	消防ポンプ自動車 1 台購入、消防署南出張所に配置。
7 . 5 . 1 4	入鹿池において、航空自衛隊機の墜落事故が発生。救助隊（潜水隊）による救助活動実施。
7 . 1 2 . 1 9	高規格救急自動車を 1 台購入、消防署本署に配置。

消 防 団 の 沿 革

年 月 日	項 目
昭和	
23. 7. 1	消防組織法の施行により、警察から分離して犬山町消防団となる。
29. 4. 1	町村合併（犬山町、城東、羽黒、楽田、池野の4村）により、犬山市となり連合消防団を編成する。 犬山消防団長（副団長2名） 10個分団 犬山市連合 城東消防団長（ 〃 1名） 5個分団 消防団長 羽黒消防団長（ 〃 1名） 5個分団 楽田消防団長（ 〃 1名） 5個分団 池野消防団長（ 〃 1名） 2個分団 27個分団 消防ポンプ自動車 3台 （定員1,600名） 三輪ポンプ自動車 4台 手引動力ポンプ自動車 3台 小型ポンプ自動車 19台 計29台
31. 4. 1	連合消防団制を廃止して、1消防団27個分団（546名）とする。
31. 10. 5	成績優秀団として、愛知県知事から表彰旗を授与され表彰を受ける。
37. 4. 1	消防団員の定員を546名から432名とする。
39. 10. 1	消防本部（署）の設置に伴い、消防団の機動化を図るため、1消防団、6個分団、定員を432名から168名に再編成した。
43. 3. 7	日本消防協会長から団旗竿頭綬を授与され表彰を受ける。
43. 4. 23	全国防災会長から防災功労消防団として表彰を受ける。
43. 5. 26	尾張水害予防組合管理者から昭和42年7月豪雨の際、水害活動が極めて顕著なものとして第1水防団（犬山市消防団）が表彰を受ける。
43. 10. 11	愛知・岐阜両県知事から飛騨川バス転落事故の発生に対し、その活動が極めて顕著なものとして感謝状を受ける。

年 月 日	項 目
4 4 . 8 . 2	第 1 4 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 2 分団）。
4 4 . 1 1 . 9	愛知県知事から愛知県消防及び水防表彰規則により、成績優秀として竿頭綬を授与され表彰を受ける。
4 5 . 7 . 2 3	第 1 5 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 3 分団）。
4 6 . 1 2 . 2 0	都市計画事業により、新築移転中の第 1 分団車庫が完成（軽量鉄骨造平屋建、建築面積 3 2 . 4 0 平方メートル）
4 8 . 1 0 . 6	無線受令機を消防団長及び各 6 個分団に設置
4 9 . 8 . 2	第 1 9 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に準優勝する（代表第 1 分団）。
5 0 . 8 . 6	第 2 0 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 2 分団）。
5 1 . 1 2 . 3	愛知県知事から県下消防団の模範として、表彰旗を授与され表彰を受ける。
5 4 . 3 . 3 1	第 6 分団の車庫を廃止し地域防災の拠点とするため、鉄骨造 2 階建（延べ面積 4 8 . 0 平方メートル）を新築移転した。
5 4 . 5 . 9	楽田出張所の新改築にあわせ、第 5 分団車庫（鉄筋コンクリート造）を併設する。
5 4 . 8 . 3	第 2 4 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 1 分団）。
5 4 . 1 2 . 2 7	第 2 分団車庫兼詰所鉄骨造 2 階建 （延べ面積 6 4 . 0 2 平方メートル） 竣工
5 5 . 3 . 5	消防表彰規定により、消防庁長官から竿頭綬を授与され表彰を受ける。
5 5 . 5 . 2 0	消防団長 木納 茂氏藍綬褒章受賞
5 6 . 3 . 2 7	第 3 分団車庫兼詰所鉄骨造 2 階建 （延べ面積 7 7 . 4 4 平方メートル） 竣工

年 月 日	項 目
5 6 . 8 . 1 1	第 2 6 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 3 分団）。
5 7 . 3 . 2 7	第 4 分団車庫兼詰所鉄骨造 2 階建 （延べ面積 7 7 . 4 4 平方メートル）竣工
5 7 . 8 . 8	第 2 7 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 4 分団）。
5 8 . 3 . 9	第 1 分団車庫兼詰所鉄骨造 2 階建 （延べ面積 7 8 . 3 4 平方メートル）竣工
5 9 . 7 . 3 1	第 2 9 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 1 分団）。
5 9 . 1 1 . 3	消防団長 河村 静雄氏叙勲（勲六等瑞宝章）
6 0 . 7 . 2 4	第 3 0 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 2 分団）。
6 1 . 1 1 . 1 6	愛知県消防協会長から消防団の模範として功績旗を授与され表彰を受ける。
6 2 . 5 . 2 4	観閲式において、階梯操法を披露した。
6 2 . 7 . 2 9	第 3 2 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 4 分団）。
6 3 . 1 1 . 3	前消防団長 布目 功氏叙勲（勲六等單光旭日章）
平成	
元 . 5 . 8	各分団車庫に電話設備設置
3 . 9 . 1 1	元消防団長 故木納 茂氏叙位・叙勲 （従六位・勲五等双光旭日章）
6 . 7 . 2 7	第 3 9 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 1 分団）。
8 . 7 . 1 6	第 4 1 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 3 分団）。
1 1 . 3 . 5	消防庁長官より表彰旗を授与され表彰を受ける。

年 月 日	項 目
1 1 . 7 . 1 7	第 4 4 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 1 分団）。
1 2 . 7 . 2 9	第 4 5 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 2 分団）。
1 2 . 1 1 . 2 8	東海豪雨の活動に対し、第 1 水防団（犬山市消防団）が建設大臣より表彰を受ける。
1 3 . 9 . 1	東海豪雨の活動に対し、第 1 水防団（犬山市消防団）が内閣総理大臣より表彰を受ける。
1 4 . 5 . 1 4	消防団長 伊藤 敏彦氏藍綬褒章受賞
1 4 . 6 . 2 0	消防団長 故伊藤 敏彦氏叙勲（勲五等瑞宝章）
1 4 . 8 . 8	平成 1 4 年 4 月 5 日に発生した岐阜県岐阜市・各務原市・関市にわたる林野火災での消火活動に対し、岐阜県知事より感謝状を受ける。
1 6 . 8 . 7	第 4 9 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 1 分団）。
1 7 . 7 . 2 3	第 5 0 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 2 分団）。
1 8 . 1 1 . 7	愛知県表彰条例により、愛知県知事から県下消防団の模範として、表彰旗を授与され表彰を受ける。
1 9 . 3 . 1 2	第 1 分団車庫兼詰所の改修工事をまちづくり交付金の補助を受け実施
1 9 . 7 . 1 6	第 5 2 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 4 分団）。
2 0 . 7 . 1 4	消防団車庫（第 1 分団～第 6 分団） 6 ヶ所に A E D（自動体外式除細動器）を設置した。
2 1 . 8 . 1 0	第 5 4 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 1 分団）。
2 2 . 7 . 2 4	第 5 5 回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第 2 分団）。

年 月 日	項 目
23. 7. 16	第56回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第3分団）。
23. 11. 3	前消防団長 浅野 進氏叙勲（瑞宝単光章）
24. 7. 21	第57回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第4分団）。
25. 11. 1	愛知県消防及び水防表彰規則により、愛知県知事から竿頭綬を授与され表彰を受ける。
25. 12. 26	第1、2、3、4分団車庫耐震工事 竣工
26. 8. 9	第59回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第1分団）。
27. 4. 1	定員を168名から178名とし、女性消防団員が入団する。
27. 8. 8	第60回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第2分団）。
27. 11. 1	愛知県消防協会長から特別功績旗を授与され表彰を受ける。
28. 3. 6	消防庁長官から、消防団等地域活動表彰を受ける。
29. 8. 5	第62回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第4分団）。
令和	
元. 5. 24	前消防団長 齊木 正文氏叙勲（瑞宝双光章）。
元. 7. 20	第64回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に準優勝する（第1分団）。
5. 4. 29	前消防団長 長瀬 昭二氏叙勲（瑞宝双光章）。
5. 5. 31	第5分団車庫兼詰所鉄骨造2階建 （延べ面積75.44平方メートル）竣工
6. 4. 1	女性分団に分団長、副分団長を置く。
6. 7. 20	第69回愛知県消防操法大会において、消防ポンプ自動車操法の部に入賞する（代表第4分団）。

令和7年度主要行事実施表

4月	1日	消防団員辞令交付式（消防本部） 新入消防団員教養訓練（消防本部）
	5, 6日	春の犬山お城まつり警備（犬山城前広場、本町交差点針綱神社前）
5月	18日	消防団観閲式（犬山市南部公民館、するすみふれあい広場）
	29日	消防スタートアップ研修
6月	7日	消防活動二輪車実技研修（江南自動車学校）
	6日	現地体験型研修
	8～14日	危険物安全週間
	28, 29日	甲乙同時防火管理講習（犬山市民交流センターフロイデ）
	29日	大規模林野火災訓練
7月	6日	消防広場
	24日	第53回消防救助技術東海地区指導会（三重県）
	30日	少年消防クラブ員県消防学校一日入校
8月	4日, 5日	名古屋市消防航空隊合同水難救助訓練
9月	7～13日	救急医療週間
	7, 8日	上級救命講習（消防本部）
	24日	岩倉市消防本部水難救助合同訓練
	28日	令和7年度犬山市消防団操法大会
10月	2日	春日井市消防本部合同潜水訓練
	8日	春日井市消防本部震災対応合同訓練
	16日	尾張地区消防連絡協議会研修会（日進市）
	17日	消火技術競練会（リトルワールド第3駐車場）
	21日	尾張東部五市消防連絡協議会研修会（春日井市）
	29日	緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練（愛知県小牧市）
	30日, 31日	3消防本部（犬山、可茂、各務原）合同潜水訓練（入鹿池）
11月	9～15日	秋季全国火災予防運動
	9日	犬山市総合防災訓練及び救急広場（犬山西学校）
	11日	保安マネジメント研修
	16日	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練（岐阜県高山市）

	19日	関西電力合同救助訓練
1 2 月	2日	関西電力合同救助訓練
	29日	年末夜警
1 月	14, 15日	救急隊合同連携訓練（丹羽消防）
	18日	消防出初式 （南部公民館講堂・するすみふれあい広場）
	22日	文化財防火デーに伴う消防合同訓練（大縣神社）
	26日	文化財防火デーに伴う消防合同訓練（犬山城）
	28日	文化財防火デーに伴う消防合同訓練（有楽苑）
	30, 31日	救急隊合同連携訓練（小牧消防）
2 月	4～17日	高齢者住宅防火診断
	9, 10日	消防職員研修（消防本部）
	10日	救急技術発表会（消防本部）
	15日	大規模林野火災訓練
3 月	1日	ちびっこ一日消防署長
	1～7日	春季全国火災予防運動

令和 8 年度犬山市一般会計当初予算は、3 1 3 億 9, 0 9 7 万
8 千円であり、市民の生命、身体及び財産を火災等の災害から守る
消防費は、1 2 億 1, 8 8 1 万 7 千円（3. 9 %）となっています。

○犬山市一般会計予算及び消防予算

○消防費市民負担換算額

○令和 8 年度一般会計予算

○消防団員の報酬・旅費、費用弁償

犬山市一般会計予算及び消防予算

(単位：千円)

		令和 8 年度予算額
犬山市一般会計予算額		31,390,978
消 防 費		1,218,817
消 防 費 内 訳	常 備 消 防 費	1,035,787
	非 常 備 消 防 費	37,432
	消 防 施 設 費	125,179
	水 防 費	1,948
	通信共同運用事業費	18,471
市予算に対する消防費の比率		3.9%

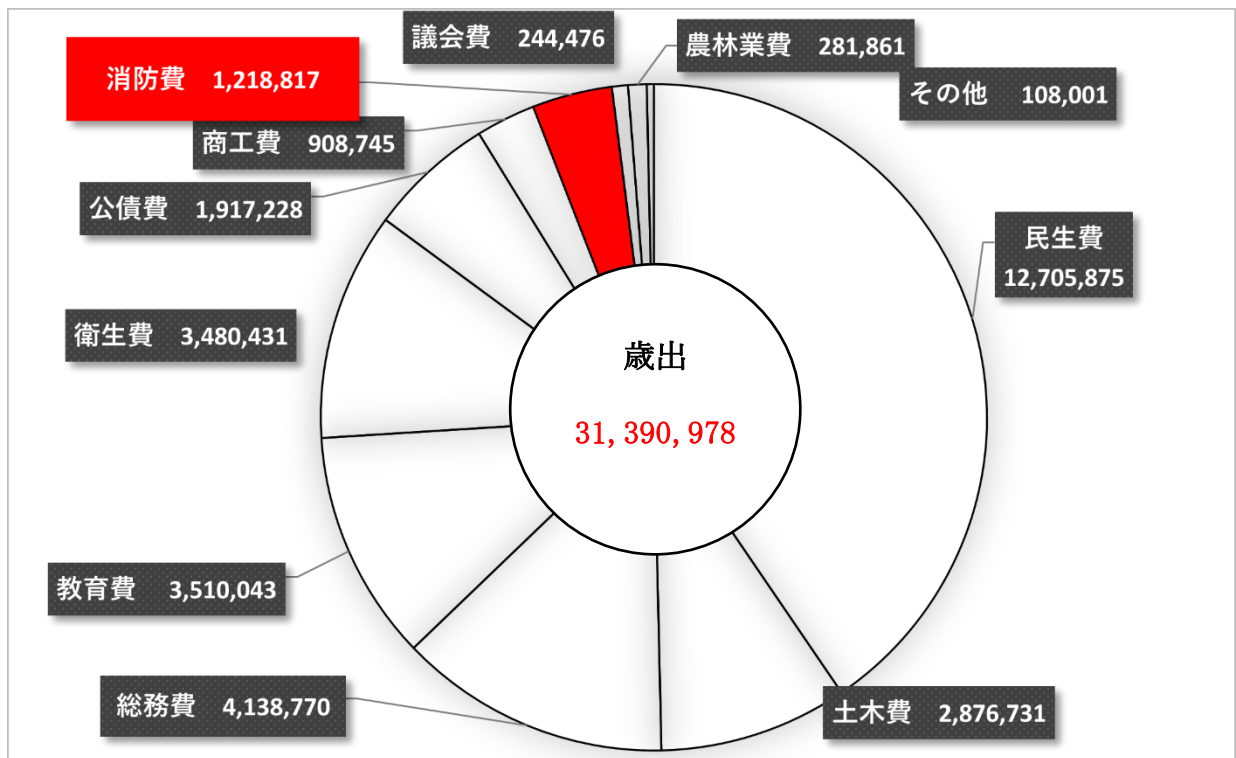
消 防 費 市 民 負 担 換 算 額

1 人当たり	1 世帯当たり
17,220 円	37,636 円

※ 1 犬山市の概要 人口 世帯数 参照

令和 8 年度一般会計予算

(単位：千円)



消防団員の報酬・費用弁償

	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	団 員
報酬	195,000 円	163,000 円	90,000 円	83,000 円	60,000 円	51,000 円
費用弁償	犬山市職員等の旅費に関する条例(令和 7 年条例第 25 号)の規定による市長等の旅費相当額		犬山市職員等の旅費に関する条例の規定による市長等以外の職員の旅費相当額			

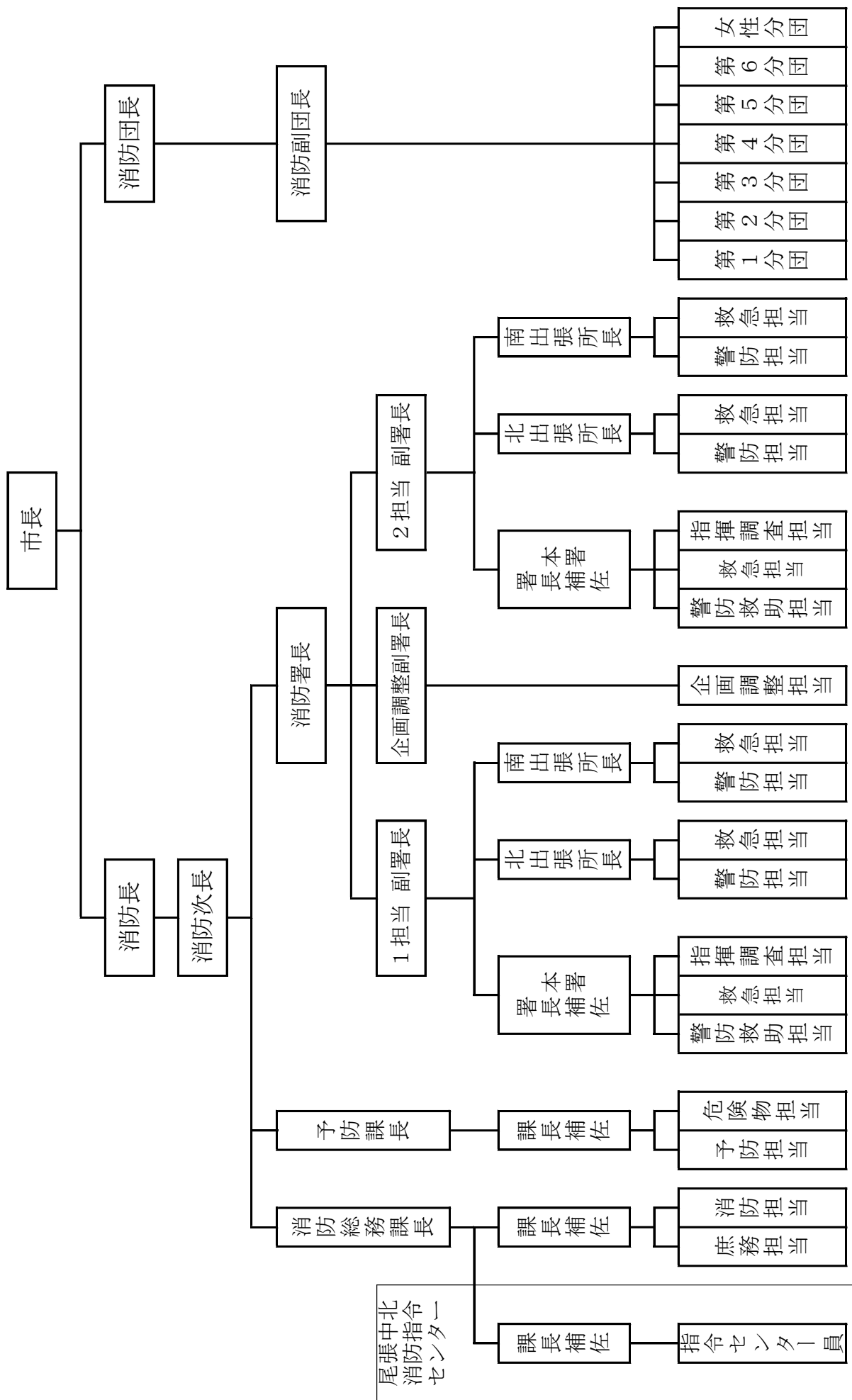
出 動 報 酬

区分		出動報酬の額
災害出動	活動時間が 4 時間以上のとき	1 日につき 8,000 円
	活動時間が 4 時間未満のとき	1 日につき 4,000 円
	活動なし	1 日につき 2,000 円
警戒又は誤報		1 日につき 2,000 円
訓練		1 日につき 2,000 円 (犬山市消防団操法大会に伴う分団による訓練にあっては、1,000 円)
式典		1 日につき 2,000 円
警備		1 日につき 2,000 円
広報、講習等		1 日につき 2,000 円

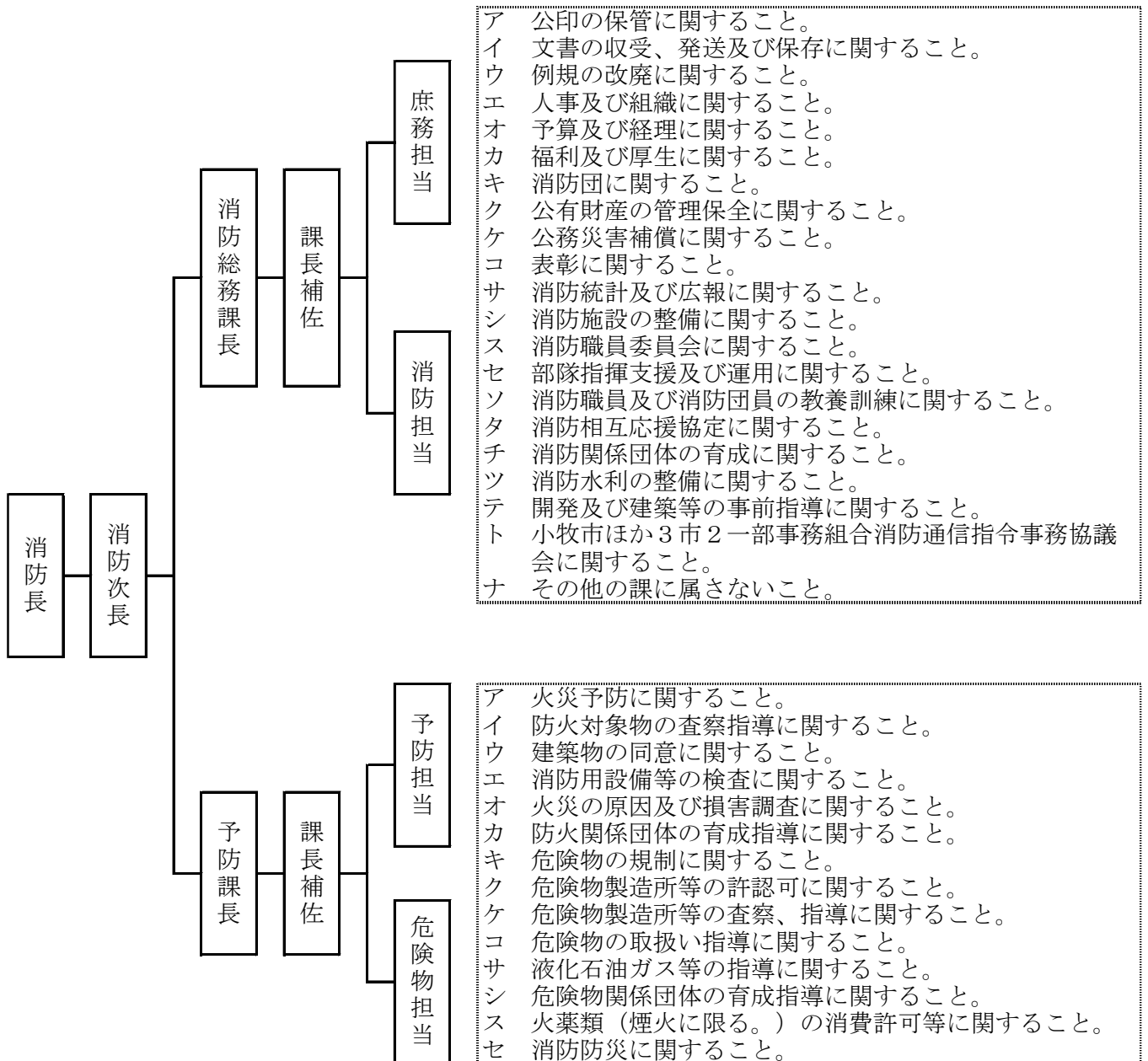
犬山市の消防機関は、消防本部（2課4担当）消防署（1署7担当、2出張所4担当）、消防団（7個分団）で組織され、消防職員116名（うち派遣出向者3名、休職者1名）、消防団員166名の陣容で、災害に応じた効果的な人員配置と機動力の強化に努め、資質の向上を図っています。

- 犬山市の消防機構
- 消防本部事務分掌
- 消防署事務分掌
- 消防職員勤続年数表
- 消防職員年齢・階級別表
- 消防職員教育実施状況表
- 歴代消防長・消防署長
- 消防団員の編成及び装備表
- 消防団員勤続年数表
- 消防団員年齢表

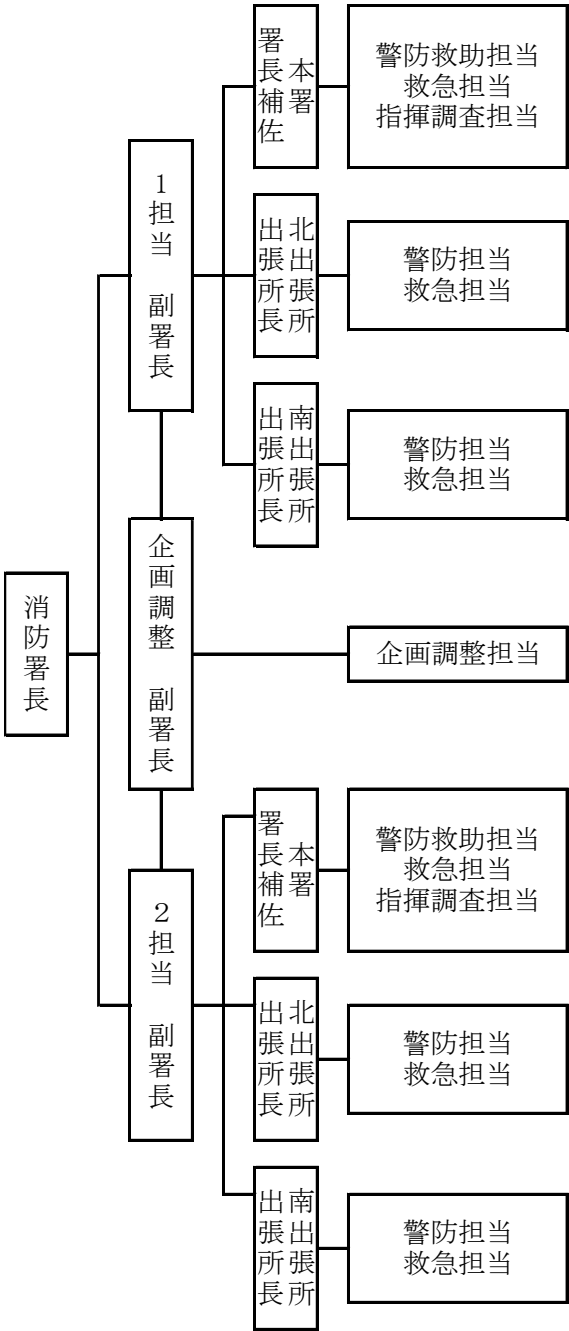
犬山市の消防機構



消 防 本 部 事 務 分 掌



消 防 署 事 務 分 掌



消防署

災害の警戒及び防御に関すること。
部隊指揮及び諸情報の収集に関すること。
消防水利の管理保全に関すること。
消防対象物の査察指導に関すること。
自衛消防組織及び防災関係団体等の指導及び育成に関すること。
消防相互応援の実施に関すること。
火災の予防に関すること。
火災の原因及び損害調査に関すること。
救急業務に関すること。
応急救護の指導に関すること。
救急医療情報に関すること。
救助業務に関すること。
消防燃料に関すること。
消防等機械器具の管理保全に関すること。
通信施設の管理保全に関すること。
受付通信業務に関すること。
防災行政無線の運用に関すること。
火災警報の発令及び解除に関すること。
消防統計に関すること。
署内の庶務に関すること。
その他警防に関すること。

出張所

災害の警戒及び防御に関すること。
消防水利の調査点検に関すること。
消防対象物の査察指導に関すること。
自衛消防組織及び防災関係団体等の指導及び育成に関すること。
消防相互応援の実施に関すること。
火災の予防に関すること。
火災の原因及び損害調査に関すること。
救急業務に関すること。
応急救護の指導に関すること。
消防等機械器具の点検整備に関すること。
その他警防に関すること。

消 防 職 員 勤 続 年 数 表

階級別 年数表	消 防 吏 員							合 計
	消 防 監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	
5 年未満							2 3	2 3
5 ～ 9					4	4	9	1 7
1 0 ～ 1 4				2	1 1			1 3
1 5 ～ 1 9				1 2	1 7			2 9
2 0 ～ 2 4			1	1 0				1 1
2 5 ～ 2 9			3	2				5
3 0 年以上	1	6	9	2				1 8
計	1	6	1 3	2 8	3 2	4	3 2	1 1 6

消 防 職 員 年 齢 ・ 階 級 別 表

階級別 年 齢 別	消 防 吏 員							合 計
	消 防 監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	
1 8 ～ 1 9							3	3
2 0 ～ 2 4							2 1	2 1
2 5 ～ 2 9					1	4	7	1 2
3 0 ～ 3 4					1 0		1	1 1
3 5 ～ 3 9				3	2 1			2 4
4 0 ～ 4 4				1 9				1 9
4 5 ～ 4 9			3	4				7
5 0 ～ 5 4		4	9					1 3
5 5 ～ 6 0	1	2	1	2				6
計	1	6	1 3	2 8	3 2	4	3 2	1 1 6
平 均	5 7	53. 6	51. 5	43. 5	34. 7	27. 5	23	41. 5

消 防 職 員 教 育 実 施 状 況 表

学 校 別	階 級 別 科 別		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
消 防 大 学 校	新 任 消 防 長 科									
	上 級 幹 部 科			1						1
	幹 部 科			1						1
	警 防 科			2						2
	予 防 科					1				1
	火 災 調 査 科				1					1
	危 険 物 科				1					1
	救 急 科									
	救 助 科				1	4				5
	新 任 教 官 科			1		1				
県 										

歴 代 消 防 長 ・ 消 防 署 長

消 防 長

	氏 名	在 職 期 間	備 考
初代	岡 部 益 衛	S 3 9 . 6 . 1 ~ S 4 6 . 3 . 3 1	市長兼任
2代	小 島 清 三	S 4 6 . 4 . 1 ~ S 5 4 . 3 . 3 1	〃
3代	松 山 邦 夫	S 5 4 . 4 . 1 ~ S 5 8 . 6 . 3 0	〃
4代	三 輪 数 雄	S 5 8 . 7 . 1 ~ S 6 1 . 1 . 1 3	専 任
5代	松 山 定 夫	S 6 1 . 1 . 1 4 ~ S 6 1 . 3 . 3 1	助役兼任
6代	板 津 正 信	S 6 1 . 4 . 1 ~ H 元 . 3 . 3 1	専 任
7代	長 谷 川 潤	H 元 . 4 . 1 ~ H 3 . 4 . 5	〃
8代	小 島 武 彦	H 3 . 4 . 6 ~ H 3 . 4 . 1 1	助役兼任
9代	青 山 修	H 3 . 4 . 1 2 ~ H 6 . 3 . 3 1	専 任
1 0代	小 川 俊 仁	H 6 . 4 . 1 ~ H 1 0 . 3 . 3 1	〃
1 1代	大 嶋 正 己	H 1 0 . 4 . 1 ~ H 1 2 . 3 . 3 1	〃
1 2代	長 谷 川 栄 作	H 1 2 . 4 . 1 ~ H 1 5 . 3 . 3 1	〃
1 3代	丹 羽 孝	H 1 5 . 4 . 1 ~ H 1 6 . 3 . 3 1	〃
1 4代	伊 藤 征 夫	H 1 6 . 4 . 1 ~ H 1 7 . 3 . 3 1	〃
1 5代	渡 辺 孝 雄	H 1 7 . 4 . 1 ~ H 1 8 . 3 . 3 1	〃
1 6代	松 田 一 雄	H 1 8 . 4 . 1 ~ H 2 0 . 3 . 3 1	〃
1 7代	牧 野 一 夫	H 2 0 . 4 . 1 ~ H 2 1 . 3 . 3 1	〃
1 8代	丹 羽 俊 久	H 2 1 . 4 . 1 ~ H 2 5 . 3 . 3 1	〃
1 9代	酒 向 利 幸	H 2 5 . 4 . 1 ~ H 2 8 . 3 . 3 1	〃
2 0代	石 田 雅 夫	H 2 8 . 4 . 1 ~ H 3 1 . 3 . 3 1	〃
2 1代	大 澤 満	H 3 1 . 4 . 1 ~ R 8 年 3 . 3 1	〃
2 2代	長 谷 川 敦	R 8 年 . 4 . 1 ~ 現 在	〃

消防署長

	氏 名	在 職 期 間
初代	近 藤 為 雄	S 3 9 . 6 . 1 ~ S 4 0 . 3 . 3 1
2代	水 谷 富 士 男	S 4 0 . 4 . 1 ~ S 5 2 . 3 . 3 1
3代	河 合 敏 雄	S 5 2 . 4 . 1 ~ S 5 4 . 3 . 3 1
4代	倉 知 逸 夫	S 5 4 . 4 . 1 ~ S 5 5 . 3 . 3 1
5代	三 輪 数 雄	S 5 5 . 4 . 1 ~ S 5 8 . 6 . 3 0
6代	田 島 武	S 5 8 . 7 . 1 ~ S 6 3 . 3 . 3 1
7代	後 藤 實 也	S 6 3 . 4 . 1 ~ H 3 . 3 . 3 1
8代	日 比 野 勝 義	H 3 . 4 . 1 ~ H 7 . 3 . 3 1
9代	長 谷 川 栄 作	H 7 . 4 . 1 ~ H 8 . 3 . 3 1
10代	坂 野 克 己	H 8 . 4 . 1 ~ H 1 4 . 3 . 3 1
11代	丹 羽 孝	H 1 4 . 4 . 1 ~ H 1 5 . 3 . 3 1
12代	伊 藤 征 夫	H 1 5 . 4 . 1 ~ H 1 6 . 3 . 3 1
13代	渡 辺 孝 雄	H 1 6 . 4 . 1 ~ H 1 7 . 3 . 3 1
14代	石 田 啓 一	H 1 7 . 4 . 1 ~ H 1 8 . 3 . 3 1
15代	日 比 野 一 博	H 1 8 . 4 . 1 ~ H 2 1 . 3 . 3 1
16代	酒 向 利 幸	H 2 1 . 4 . 1 ~ H 2 5 . 3 . 3 1
17代	安 藤 悟	H 2 5 . 4 . 1 ~ H 2 6 . 3 . 3 1
18代	小 川 正 根	H 2 6 . 4 . 1 ~ H 2 8 . 3 . 3 1
19代	宮 川 敏 也	H 2 8 . 4 . 1 ~ H 3 0 . 3 . 3 1
20代	水 野 明 雄	H 3 0 . 4 . 1 ~ R 4 . 3 . 3 1
21代	安 藤 和 重	R 4 . 4 . 1 ~ R 8 . 3 . 3 1
22代	福 岡 康 彦	R 8 . 4 . 1 ~ 現 在

消防団員の編成及び装備表

令和8年4月1日時点

区 分	人 員							機 械			
階級 分団別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	団 員	合 計	四 輪 ポ ンプ	小 型 動 力 ポ ンプ	性 能	合 計
定 員	1	2	7	7	19	142	178				
実 員	1	2	7	7	19	130	166				
第1分団			1	1	3	24	29	1	1	A2 B3	2
第2分団			1	1	3	23	28	1	1	A2 B3	2
第3分団			1	1	3	25	30	1	1	A2 B3	2
第4分団			1	1	3	24	29	1	1	A2 B3	2
第5分団			1	1	3	20	25	1	1	A2 B3	2
第6分団			1	1	3	7	12	1	1	A2 B3	2
女性分団			1	1	1	7	10	—	—	—	—

消防団員勤続年数表（分団別）

団長 31年 副団長 26年 副団長 25年

分団 勤続年数	1分団	2分団	3分団	4分団	5分団	6分団	女性 分団	合計
1未満	1	3	4	1	1	1		11
1以上	4	2	2		1	1		10
2	1	2			1		1	5
3	3		2	2				7
4	1	1	1		1	1		5
5							1	1
6	1	2	1	1				5
7	2			1			1	4
8	2		1	1		1		5
9	1		4	1				6
10	2		1	2		2		7
11	1		3	1		1	7	13
12				2		1		3
13	1	1		1				3
14		1	1	1				3
15	1	3	3		1			8
16			2	1				3
17	1	1		1	1			4
18			1	1	1			3
19	2		1	1				4
20	1			1	1			3
21		2		1				3
22	1	1			1	1		4
23				1	1	2		4
24		1			1			2
25		2						2
26	2	1	1	1				5
27			1					1
28		1	1		1			3
29		2		1	2	1		6
30				1	1			2
31	1				1			2
32以上		2		5	9			16
合 計	29	28	30	29	25	12	10	163

消 防 団 員 年 齢 表 （ 分 団 別 ）

団長 58才 副団長 55才 副団長 50才

年齢 \ 分団	1分団	2分団	3分団	4分団	5分団	6分団	女性分団	合計
18才		3						3
19						1		1
20		2	1					3
21		1	1		2			4
22								
23	2							2
24	1							1
25								
26								
27	1							1
28	2							2
29	1							1
30								
31	2							2
32								
33					1			1
34			2	1				3
35	2							2
36	1			1			1	3
37		1	1					2
38	1	1						2
39	1		1		1			3
40	4		1					5
41						1		1
42	2	1	1	2				6
43	1	1	1	6		3		12
44	1			1				2
45		1			2			3
46	2							2
47			2		1			3
48			2	2		1		5
49		3	3			1		7
50			3	3	1		1	8
51		1	1		1			3
52						2	2	4
53	2	1	2				2	7
54		2	2		3			7
55		1		1	3	1		6
56	1		1				1	3
57		3	2	1	3			9
58	1	2	2	1		1		7
59	1		1		1		1	4
60				2	1	1		4
61～		4		8	5		2	19
合 計	29	28	30	29	27	12	10	163
平均年齢	38.9	46	46.9	52.1	51.8	46.9	53.7	49.9

消防用の施設・機械は、年々複雑多様化する各種災害にいち早く対応するため、常に最新の装備を兼ね備えた消防車両の導入や消防水利の設置などを積極的に進め、消防力の充実強化を図っています。



(犬山市消防本部・消防署庁舎)

- 消防庁舎等の施設表
- 消防機械一覧表
- 消防水利現況表
- 犬山市消防施設配置図

消 防 庁 舎 等 の 施 設 表

	名称及び所在地	敷 地 面 積	建築年月日・構 造	建 築 面 積
消 防 本 部 ・ 消 防 署	犬山市消防本部 犬山市消防署	5, 193. 30㎡	昭和49年9月15日 庁舎 鉄筋コンクリート 一部鉄骨造 3階建 付属棟 鉄骨造2階建等3棟	建築面積 1, 115. 66㎡ 延べ面積 1, 981. 05㎡
	犬山市大字五郎丸 字下前田1番地			
	犬山市消防署北出張所	2, 305. 19㎡	平成30年9月24日 鉄骨造地上2階建	建築面積 399. 43㎡ 延べ床面積 567. 99㎡
	犬山市大字犬山 字身打田11番地5			
	犬山市消防署南出張所	1, 593. 19㎡	平成23年3月26日 鉄骨造2階建	建築面積 390. 59㎡ 延べ床面積 587. 50㎡
	犬山市大字羽黒新田 字上島38番地15			

消 防 団	犬山市消防団第1分団 犬山市大字犬山 字北古券25番地3	(犬山市立犬山北小学校 敷地内)	昭和58年3月9日 鉄骨造2階建	建築面積 37. 72㎡ 延べ面積 78. 34㎡
	犬山市消防団第2分団 犬山市大字犬山 字南古券155番地1	38. 6㎡ (真言宗秋葉教会借地)	昭和54年12月27日 鉄骨造2階建	建築面積 38. 59㎡ 延べ面積 64. 02㎡
	犬山市消防団第3分団 犬山市大字塔野地 字中浦76番地4	96. 29㎡	昭和56年3月27日 鉄骨造2階建	建築面積 36. 81㎡ 延べ面積 77. 44㎡
	犬山市消防団第4分団 犬山市大字羽黒 字古市場34番地6	115. 70㎡	昭和57年3月27日 鉄骨造2階建	建築面積 40. 62㎡ 延べ面積 77. 44㎡
	犬山市消防団第5分団 犬山市字外屋敷59番地1	(楽田ふれあいセンター 敷地内)	令和5年6月1日 鉄骨造2階建	建築面積 39. 11㎡ 延べ面積 60. 36㎡
	犬山市消防団第6分団 犬山市字杵下70番地5	77. 00㎡	昭和54年3月31日 鉄骨造2階建	建築面積 27. 10㎡ 延べ面積 51. 10㎡

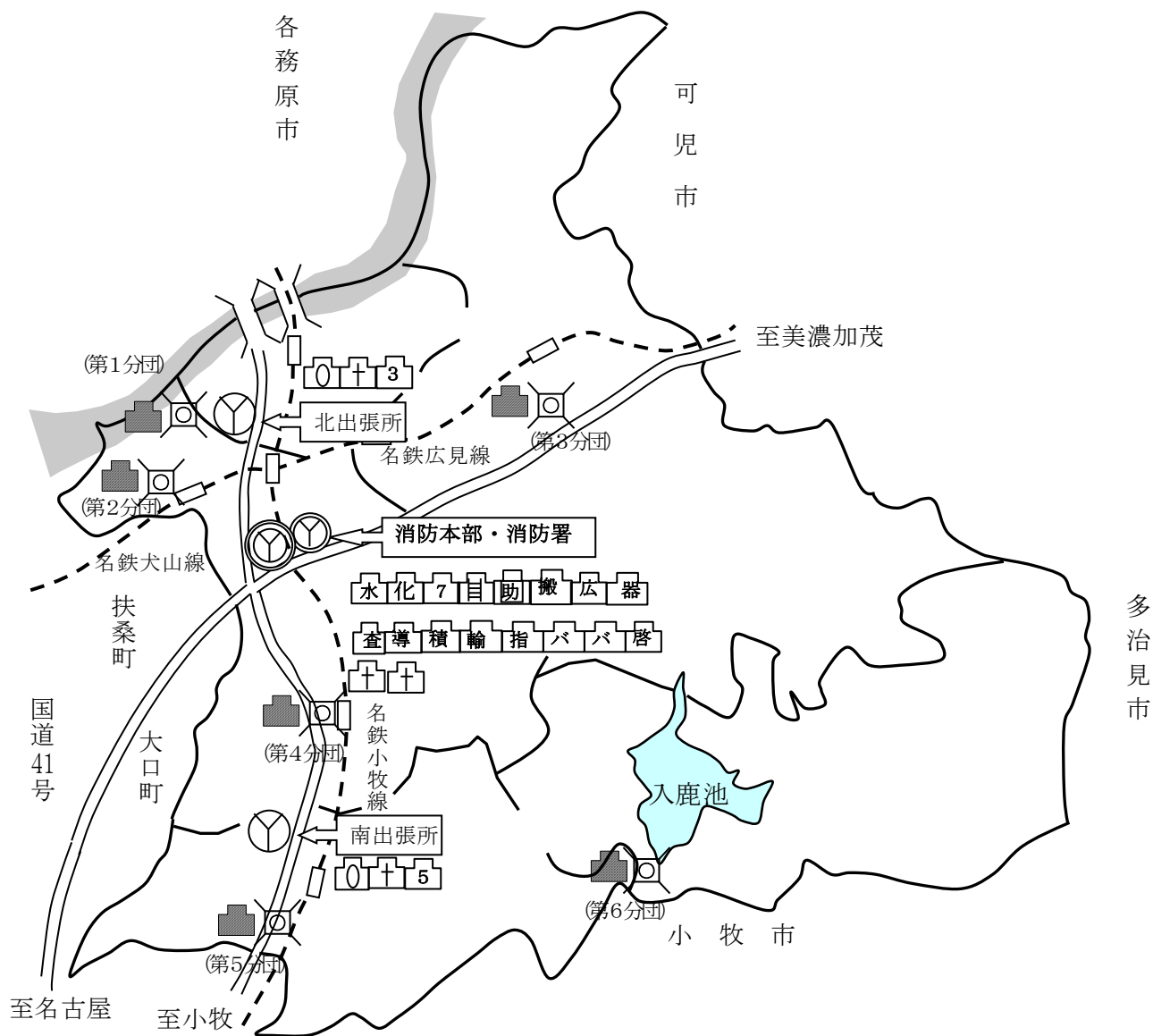
消 防 機 械 一 覧 表

区 分 所 属		種 類	社 名	登録年 (初年度)	ポ ン プ		備 考
					名 称	型 式	
消 防 本 部	消 防 署	小型動力ポンプ付水槽車	いすゞ	R2.3	シバウラ	高圧1段タービン	B-2級
		化学車(Ⅱ型)	日 野	H26.8	小川ポンプ	高圧2段バランスタービン	A2
		ポンプ車(CD-1型)	日 野	H24.1	長野ポンプ	〃	A2
		梯子車(40m級)	日 野	R4.2			コンピューター制御
		救助工作車	日 野	R6.6			2.93tクレーン
							2灯式LED(400w)
		広報車	トヨタ	H27.1			乗用
		査察車	トヨタ	R2.11			ライトバン
		積載車	トヨタ	H18.7			トラック3t
		輸送車	トヨタ	R4.12			
		指揮車	トヨタ	H27.9			
		搬送車	トヨタ	H20.11			
		高規格救急車	トヨタ	R3.2			
		高規格救急車	日 産	R7.12			
		消防活動二輪車(1)	ヤマハ	H22.3			250cc
		消防活動二輪車(2)	ヤマハ	H22.3			250cc
		防火指導車	スズキ	H25.8			
		器具搬送車	ダイハツ	H23.4			
		防火啓発車	ダイハツ	R3.4			
	北 出 張 所	水槽付消防ポンプ車	日 野	R5.9	平和機械	高圧2段バランスタービン	A2
		高規格救急車	トヨタ	H29.1			
	南 出 張 所	ポンプ車(CD-1型)	日 野	H26.2	長野ポンプ	高圧2段バランスタービン	A2
	南 出 張 所	水槽付消防ポンプ車	日 野	H25.2	モリタ	高圧2段バランスタービン	A2 (CAFS)
		高規格救急車	日 産	H31.2			
	南 出 張 所	ポンプ車(CD-1型)	日 野	R7.3	モリタ	高圧2段バランスタービン	A2
消 防 団	1分団	消防ポンプ車	トヨタ	R7.12	モリタ	インデューサー付 一段ポリュートポンプ	A2
		小型動力ポンプ		R7.9	トーハツ	片吸込1段タービン	B3
	2分団	消防ポンプ車	日 野	H16.12	日本機械	高圧2段バランスタービン	A2
		小型動力ポンプ		H10.12	トーハツ	片吸込1段タービン	B3
	3分団	消防ポンプ車	トヨタ	H26.12	小川ポンプ	高圧2段バランスタービン	A2
		小型動力ポンプ		R3.10	トーハツ	片吸込1段タービン	B3
	4分団	消防ポンプ車	トヨタ	H27.6	小川ポンプ	高圧2段バランスタービン	A2
		小型動力ポンプ		R5.9	トーハツ	片吸込1段タービン	B3
	5分団	消防ポンプ車	日 野	H18.3	モリタ	高圧2段バランスタービン	A2
		小型動力ポンプ		H7.8	トーハツ	片吸込1段タービン	B3
	6分団	消防ポンプ車	いすゞ	H27.11	モリタ	高圧2段バランスタービン	A2
		小型動力ポンプ		H7.8	トーハツ	片吸込1段タービン	B3

消 防 水 利 現 況 表

地 区 名		犬 山		城 東	羽 黒	楽 田	池 野	合 計
管 区 区分(口径)		1	2	3	4	5	6	
消 火 栓	7 5 mm以下		10	22	11	7	6	56
	1 0 0 mm		30	42	45	29	30	183
	1 2 5 mm							
	1 5 0 mm		28	27	31	18	42	149
	2 0 0 mm		10	16	5	19	10	61
	2 5 0 mm		3	8	8		5	24
	3 0 0 mm		12	1	16			29
	3 5 0 mm以上		1	2	3	1	5	12
	合 計		94	118	119	74	98	514
防 火 水 槽	2 0 立方 メートル未満	無 蓋						
		有 蓋	3	3	3			9
	2 0 ～ 4 0 立方メートル 未 満	無 蓋						
		有 蓋	9	8	2	11	6	39
	4 0 立方 メートル以上	無 蓋	1					1
		有 蓋	35	53	89	88	68	349
	計	無 蓋	1					1
		有 蓋	47	64	94	99	74	397
	合 計		48	64	94	99	74	398

犬山市消防施設配置図



	消 防 本 部		消 防 ポ ン プ 自 動 車		輸 送 車
	消 防 署		消 防 ポ ン プ 自 動 車		指 揮 車
	出 張 所		救 助 工 作 車		防 火 指 導 車
	小型動力ポンプ付水槽車		広 報 車		高 規 格 救 急 車
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車		査 察 車		器 具 搬 送 車
	化 学 車		搬 送 車		消防団消防ポンプ自動車
	消 防 ポ ン プ 自 動 車		梯 子 車		小 型 動 力 ポ ン プ
	消 防 活 動 二 輪 車		積 載 車		防 火 啓 発 車

●火災の動向

令和7年は16件の火災が発生し、前年の17件から1件減少した火災件数となりました。死傷者数は2人でした。

建物火災は5件で、前年の10件から5件減少しました。このうち一般住宅や共同住宅から発生したのは3件（60％）でした。

●住宅用火災警報器の義務化

平成20年から犬山市では、すべての住宅及び共同住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化となりました。

住宅用火災警報器の設置率100％を目指し、普及促進の広報活動等を実施しています。

○月別火災概況

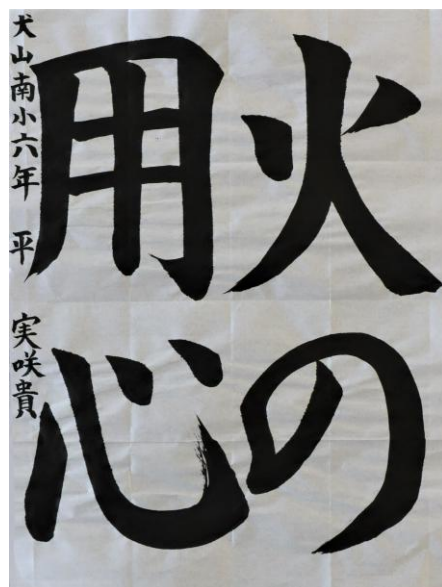
○出火原因別・ワースト順位

○地区別・出火件数

○時間別・出火件数

○過去5年の火災発生状況

○出動人員等状況表



令和7年度 防火書道展
小学生の部 優秀作品

月 別 火 災 概 況

(令和7年中)

区分 月	出火件数	火災種別				死傷者数		建物		火災損害額 (千円)	焼損棟数	り災世帯数	前年出火件数	前年比較
		建物	林野	車両	その他の	死者	負傷者	床面積 (㎡)	表面積 (㎡)					
1 月	5	1			4					72	1		2	3
2 月	2				2								1	1
3 月	2				2					1			3	△1
4 月	1				1					26			1	0
5 月													3	△3
6 月													1	△1
7 月													3	△3
8 月	1	1								1	1		1	0
9 月	2	1			1	1		47		2108	1	7	0	2
1 0 月													0	0
1 1 月	1	1					1	64		5, 232	1	6	0	1
1 2 月	2	1			1			76		16, 021	1		2	0
計	16	5			11	1	1	187		23, 461	5	14	17	△1
前年	17	10		2	5	0	2	356	26	49, 475	12	9		
比較	△1	△5		△2	6	1	△1	△169	△26	△26, 014	△7	5		

出火原因別・ワースト順位

(令和7年中)

順位	出 火 原 因	件数	前年件数	前年比較
1	焚 き 火	4	4	0
1	電 気 関 係	4	0	4
3	こ ん ろ	1	1	0
3	放 火 又 は 放 火 の 疑 い	1	3	△ 2
	そ の 他	6	9	△ 3
	計	1 6	1 7	△ 1

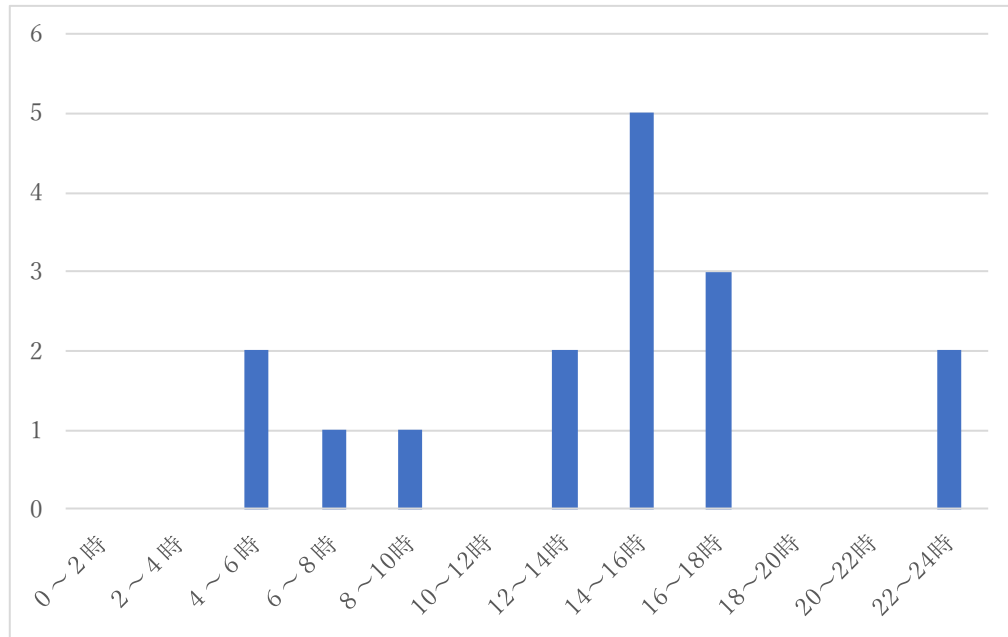
地区別・出火件数

(令和7年中)

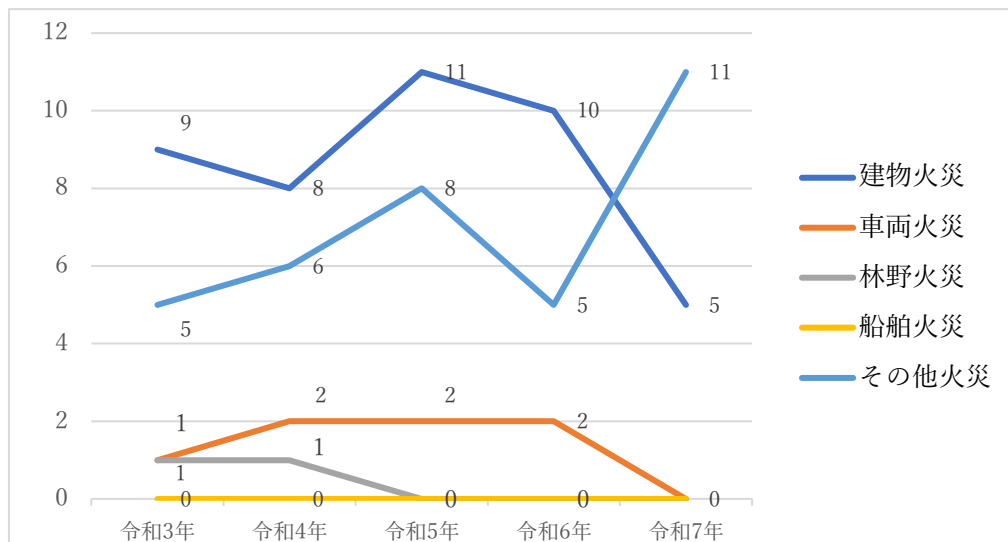
	犬 山	城 東	羽 黒	楽 田	池 野	合 計
建 物	2	0	1	1	1	5
車 両	0	0	0	0	0	0
林 野	0	0	0	0	0	0
そ の 他	2	1	3	4	1	1 1
計	4	1	4	5	2	1 6
前 年	5	4	2	6	0	1 7
前 年 比 較	△ 1	△ 3	2	△ 1	2	△ 1

時 間 別 ・ 出 火 件 数

(令和7年中)



過去5年の火災発生状況



出 動 人 員 等 状 況 表

(令和7年中)

	火 災	救助	警戒	PA連携	応 援	焼損事故	そ の 他	合 計
消 防 署	16件	60件	110件	812件	7件	6件	22件	1,033件
	99台	235台	166台	815台	7台	7台	53台	1,382台
	415人	750人	556人	936人	29人	18人	160人	2,864人
消 防 団	6件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	6件
	33台	0台	0台	0台	0台	0台	0台	33台
	398人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	398人

●概 要

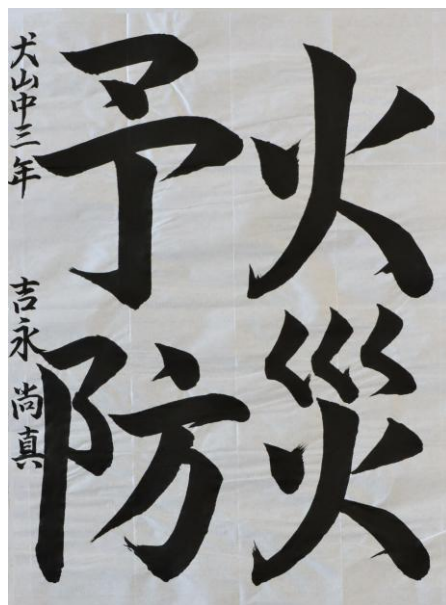
令和7年度における立入検査は、防火対象物に対し、消防法令違反を未然に防ぐことを重点に指導を実施しました。

行政と防火対象物の関係者とで、顔の見える関係作りができるよう、市内の防火対象物を2年から6年サイクルでの立入検査を計画しています。また、危険物施設は毎年全施設に対し、少量危険物のみの施設に対しては6年サイクルで立入検査を計画しています。

●対 策

上記に関連して、集会場、旅館、ホテル、大規模小売店舗等の防火管理者選任率の向上、消防用設備等の定期点検の報告率向上及び是正指導、消防訓練の励行等、防火意識の向上を目指します。

徹底した予防行政を継続し、出火危険・延焼危険の排除のため、市民に対し「火の用心」を推進するとともに、予防行政の理解と協力を得られるように努めていきます。



令和7年度 防火書道展
中学生の部 優秀作品

○防火対象物一覧表

○用途別同意件数・防火査察件数表

○製造所等の危険物数量・類別一覧表

○各種届出状況表

○危険物規制事務に係る申請件数及び防火査察件数状況表

防 火 対 象 物 一 覧 表

	防 火 対 象 物	防火 対象物数	地上5階 未満	地上5階 以上の数	小計	うち地			11階 以上
						下1階	下2階	下3階	
1項	イ 映画館、演芸場、観覧場	4	4		4	1			
	ロ 公会堂、集会場	42	41	1	42	1			
2項	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブ								
	ロ 遊技場、ダンスホール	8	8		8	1			
	ハ 風俗営業等を営む店舗								
	ニ カラオケボックス等	2	2		2				
3項	イ 待合、料理店								
	ロ 飲食店	64	64		64	1			
4項	百貨店、マーケット	80	80		80	1			
5項	イ 旅館ホテル、宿泊所	17	10	7	17	3			1
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	667	604	63	667	2	1		5
6項	イ 病院、診療所、助産所	49	47	2	49	2			
	ロ 老人短期入所施設等	35	33	2	35	2			
	ハ 老人デイサービスセンター、保育園等	31	31		31				
	ニ 幼稚園、特別支援学校	6	6		6	1			
7項	小学校、中学校、高等学校、大学校	81	74	7	81	7			
8項	図書館、博物館	42	42		42	2			
9項	イ 蒸気浴場、熱気浴場等								
	ロ 一般公衆浴場								
10項	車両の停車場、船舶の発着場								
11項	神社、寺院、教会	64	64		64				
12項	イ 工場、作業場	428	426	2	428	5			
13項	イ 自動車車庫、駐車場	13	13		13	1	1		
14項	倉庫	229	227	2	229				
15項	前各項に該当しない事業場	222	217	5	222	7	3	2	
16項	イ 複合特定用途防火対象物	236	218	18	236	12			
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	132	119	13	132	4			
17項	重要文化財	16	16		16		1		
合 計		2468	2346	122	2468	53	6	2	6

用途別同意件数・防火査察件数表

用 途		種 別	同 意 件 数	防火査察件数
1項	イ	映画館、演芸場、観覧場		2
	ロ	公会堂、集会場		12
2項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ		
	ロ	遊技場、ダンスホール		1
	ハ	風俗営業等を営む店舗		
	ニ	カラオケボックス等		
3項	イ	待合、料理店		
	ロ	飲食店	1	29
4項		百貨店、マーケット	3	26
5項	イ	旅館ホテル、宿泊所		19
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	5	49
6項	イ	病院、診療所、助産所	2	20
	ロ	老人短期入所施設等	2	11
	ハ	老人デイサービスセンター、保育園等	1	7
	ニ	幼稚園・特別支援学校		1
7項		小学校、中学校、高等学校、大学校	2	5
8項		図書館、博物館		2
9項	イ	蒸気浴場、熱気浴場等		
	ロ	一般公衆浴場		
10項		車両の停車場、船舶の発着場		
11項		神社、寺院、教会		2
12項	イ	工場、作業場	14	49
13項	イ	自動車車庫、駐車場		
14項		倉庫	8	9
15項		前各項に該当しない事業場	10	19
16項	イ	複合特定用途防火対象物	4	12
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	1	4
17項		重要文化財		
18項		アーケード		2
その他		専用住宅（自家用物置・車庫等を含む）	47	
		工作物	1	
合 計			101	281

製造所等の危険物数量・類別一覧表

区 分 \ 種 別		製 造 所	貯 蔵 所						貯 蔵 所 小 計	取 扱 所			取 扱 所 小 計	合 計
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所		給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
数 量 別	計	6	57	58	6	17	8	6	152	28	2	30	60	218
	5 倍 以 下		18	1	5	8	6	2	40	1	1	13	15	55
	5倍を越え～ 10倍以下	3	23	7	1	5	1	1	38	4		8	12	53
	10倍を越え～ 50倍以下		10	19		2		3	34	11	1	8	20	54
	50 " ～ 100 "	1	1	13		2	1		17	1		1	2	20
	100 " ～ 150 "		3						3	2			2	5
	150 " ～ 200 "			5					5	1			1	6
	200 " ～1,000 "	1	1	13					14	8			8	23
	1,000 " ～5,000 "	1	1						1					2
類 別	第 1 類													
	第 2 類													
	第 3 類													
	第 4 類	4	55	58	6	17	8	6	150	28	2	30	60	214
	第 5 類		1						1					1
	第 6 類													
	混 在	2	1						1					3

各 種 届 出 状 況 表

種 類	炉・ボイラー等設備	電気等設備	防火対象物使用開始	焚火届	道路工事	禁止行為解除	煙火打ち上げ	液化石油ガス	指定可燃物 少量危険物	防火管理者 選解任届	消防計画届	合 計
件数	10	26	43	87 (年度)	111 (年度)	24	9	10	24	141	160	645

危険物規制事務に係る申請件数及び防火査察件数状況表

区 分			設 置 数	防火査察件数 (延べ回数)	設 置 数 変 更 数	小 計	合 計
設 置 変 更 の 許 可 等	製 造 所		6	6	設 置		4
					変 更	4	
	屋 内 貯 蔵 所		5 7	5 7	設 置	1	4
					変 更	3	
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		5 8	5 7	設 置	1	1
					変 更		
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		6	5	設 置		
					変 更		
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		1 7	1 7	設 置	1	1
					変 更		
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所				設 置		
					変 更		
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		8	8	設 置		
					変 更		
	屋 外 貯 蔵 所		6	5	設 置	1	1
					変 更		
給 油 取 扱 所		2 8	3 4	設 置		2	
				変 更	2		
販 売 取 扱 所		2	2	設 置		1	
				変 更	1		
一 般 取 扱 所		3 0	3 0	設 置		6	
				変 更	6		
小 計		2 1 8	2 2 1	設 置	4	2 0	
				変 更	1 6		
検 査	完	製 造 所			設 置		4
					変 更	4	
	成	貯 蔵 所			設 置	2	5
					変 更	3	
		取 扱 所			設 置		1 0
					変 更	1 0	
小 計			設 置	2	1 9		
			変 更	1 7			
仮 取 扱 ・ 仮 貯 蔵							3
仮 使 用							1 3
合 計							1 6

令和7年の救急活動状況は、出動件数3,709件、搬送人員3,534人で前年と比較すると出動件数17件、搬送人員104人が増加しました。

これは1日平均10件、約2.4時間に1件の割合で救急隊が出動しています。

また、救助出動件数は60件となっています。



（ 救 助 訓 練 ）



（ 救 急 講 習 ）

○令和6年・令和7年救急出動統計表

○事故種別比率表

○P A連携事故種別比率表

○年齢・程度別搬送人員

○時間別出動件数

○月別出動件数

○曜日別出動件数

○救急講習会実施状況

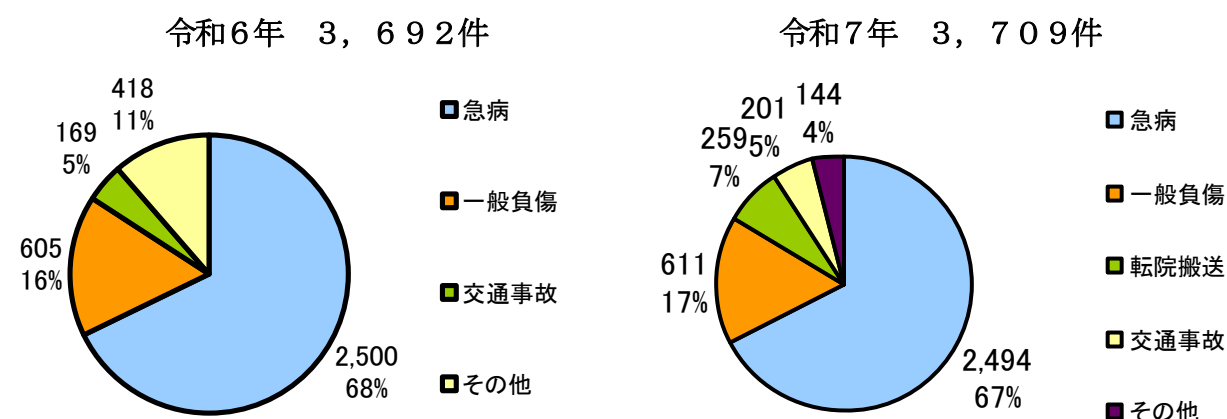
○事故種別救助出動件数

○事故種別救助出動車両状況

令和6年・令和7年救急出動統計表

救 急 事 故 種 別																
区 分		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他の
令和6年	出動件数	3,692	11	1	5	169	41	19	605	8	25	2,500	234	0	0	74
	搬送人員	3,430	2	0	1	165	41	20	584	3	16	2,363	235			
令和7年	出動件数	3,709	4	0	7	201	39	26	611	4	28	2,494	259	0	0	36
	搬送人員	3,534	2	0	2	191	39	26	597	3	21	2,393	260			

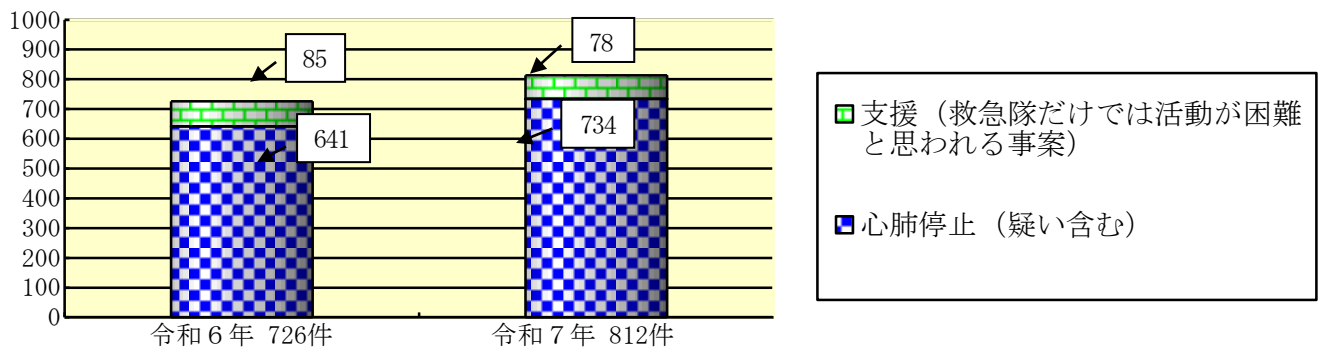
事故種別比率表



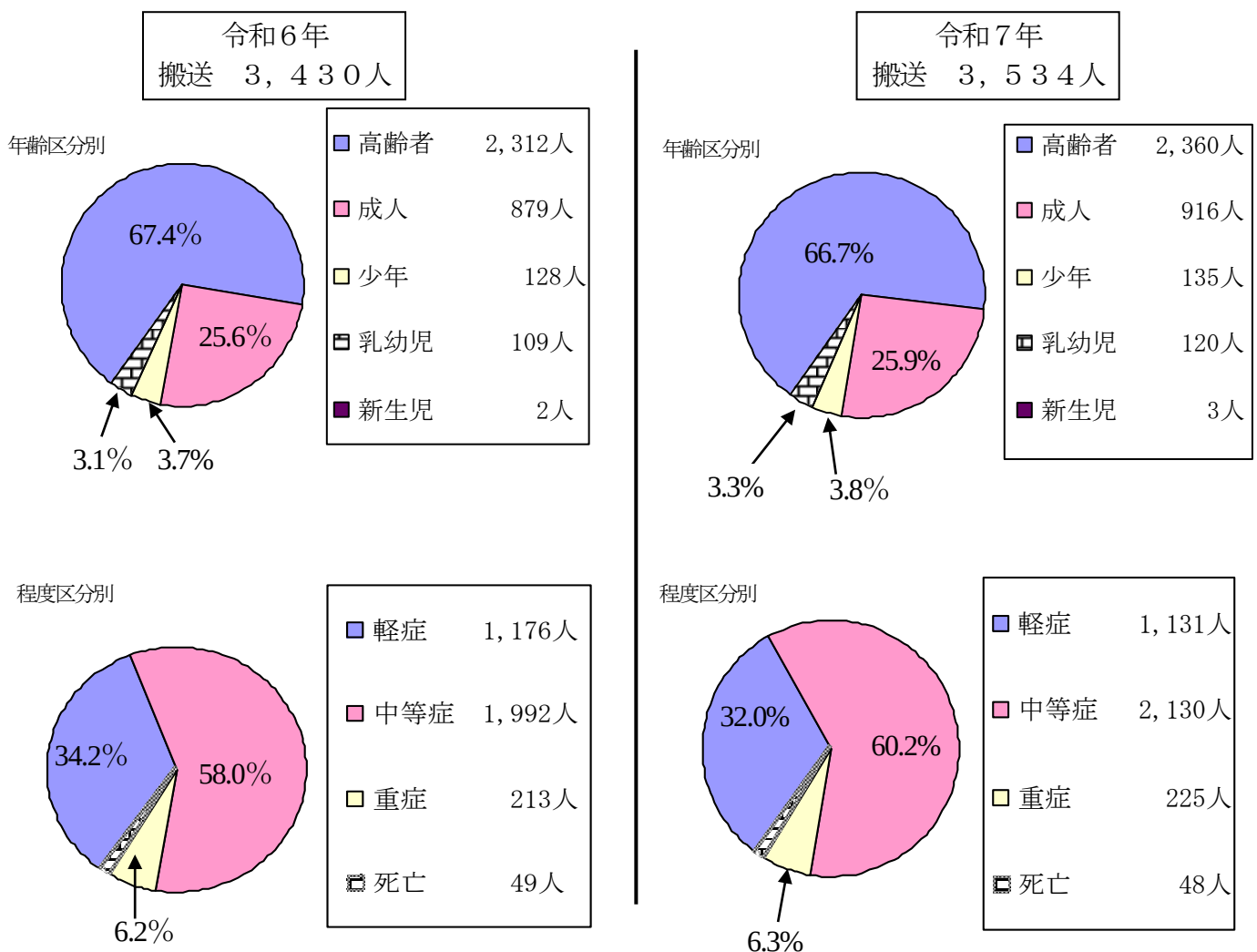
令和7年救急出動件数は急病が最も多く、2,494件（67%）次いで一般負傷611件（17%）、転院搬送259件（7%）で以下、交通事故201件の順となっています。

前年と比較すると、一般負傷6件、転院搬送25件、交通事故32件の増加、急病6件の減少となっています。

P A 連 携 事 故 種 別 比 率 表



年 齢 ・ 程 度 別 搬 送 人 員



程度区分 (医師の診断に基づく)

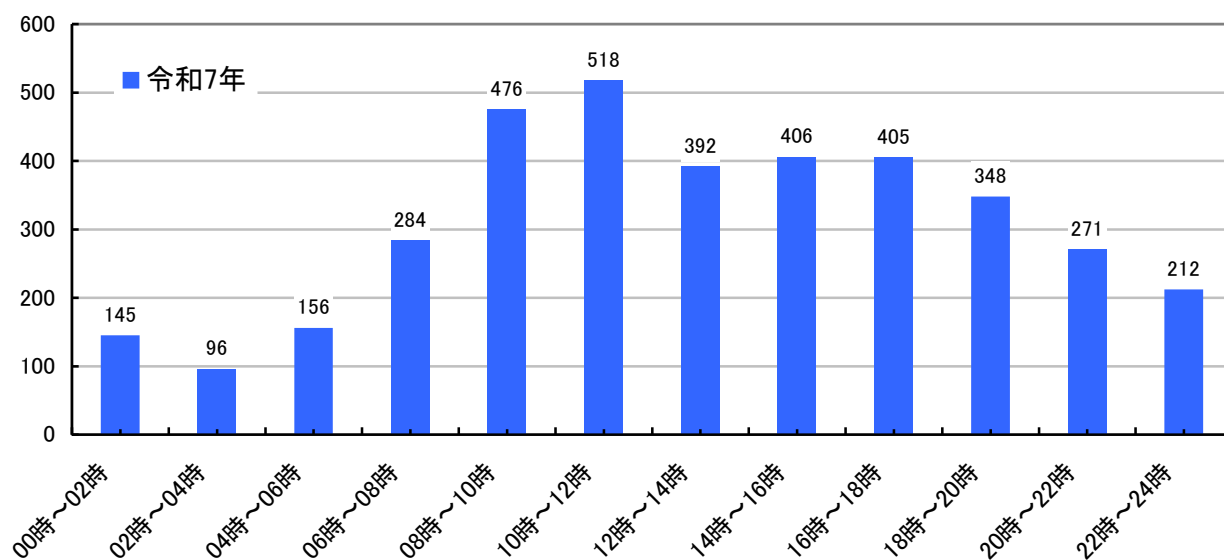
死 亡 初診時に死亡が確認された者
重 症 傷病程度が3週間以上の入院を必要とする者
中等症 傷病程度が重症又は軽症以外の者
軽 症 傷病程度が入院加療を必要としない者

年齢区分

新生児 生後 27 日までの者
乳幼児 生後 28 日から 6 歳までの者
少 年 7 歳から 17 歳までの者
成 人 18 歳から 64 歳までの者
高齢者 65 歳以上の者

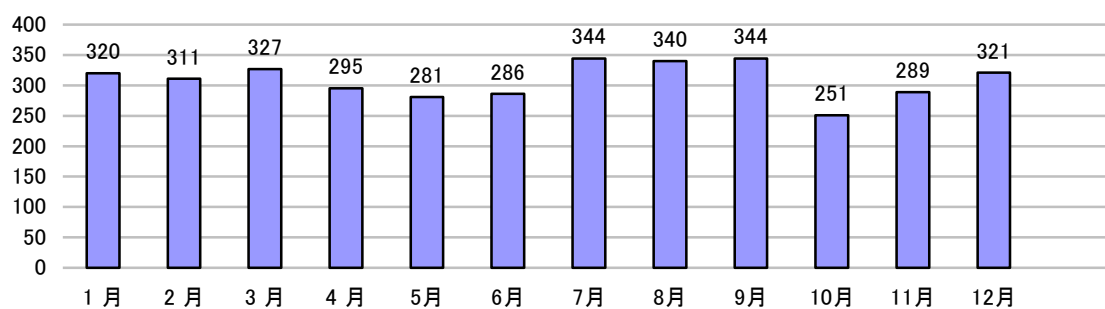
時間別出動件数

(令和7年中)



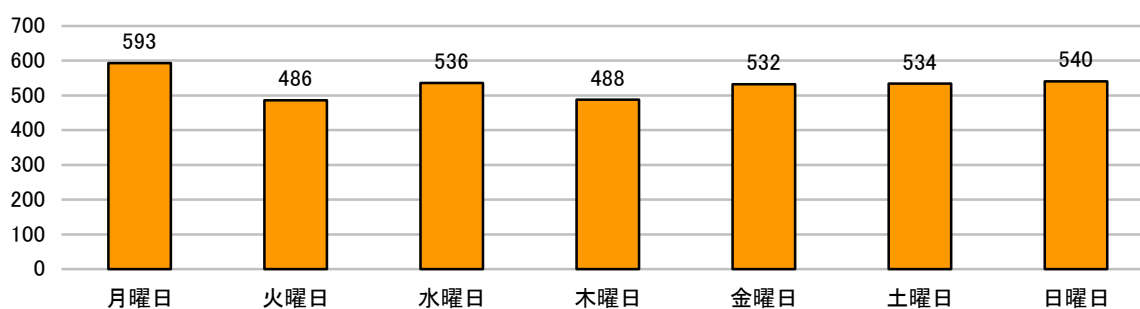
月別出動件数

(令和7年中)



曜日別出動件数

(令和7年中)



救急講習会実施状況

年	回数	救急講習会 参加人数	うち普通救命講習		うち上級救命講習		その他の講習		うち応急手当普及員 ・指導員講習	
			回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
7年	156	2,930	54	369	5	52	94	2505	3	4

市内のコンビニエンスストアと公共施設にAEDを設置しています。

犬山市は、市内のコンビニエンスストア全29店舗と、公共施設など105か所にAEDを設置管理しています。また、市の管理以外に民間事業者の広告付きAEDを公共施設の5か所に設置しています。

(令和8年4月1日現在)

詳しい設置箇所については、犬山市ホームページまたは愛知AEDマップに掲載しています。

犬山市ホームページ

【コンビニエンスストアAED】

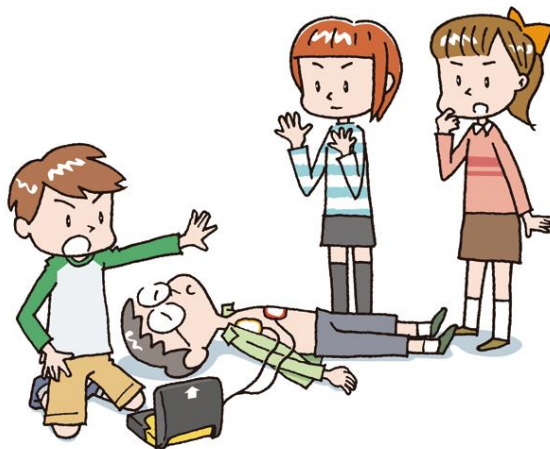
・<https://www.city.inuyama.aichi.jp/kurashi/shobo/1000978/1000991.html>

【公共施設AED】

・<https://www.city.inuyama.aichi.jp/kurashi/shobo/1000978/1000992.html>

愛知AEDマップ

- ・PC サイト URL : <https://aed.maps.pref.aichi.jp/>
- ・携帯サイト URL : <http://aed.maps.pref.aichi.jp/k/>
- ・携帯サイト QR コード



事故種別救助出動件数

(令和7年中)

種 別 件 数	火災	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	その他	ガス酸欠事故	自然災害	合計
出 動 件 数	1	11	4	0	30	13	1	0	60
活 動 件 数	1	8	3	0	25	8	1	0	46
救 助 人 員	1	9	2	0	23	7	1	0	43

事故種別救助出動車両状況

(令和7年中)

種 別 車 両 別	火災	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	その他	ガス酸欠事故	自然災害	合計
救 助 工 作 車	1	11	4	0	30	13	1	0	60
は し ご 自 動 車	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消防ポンプ自動車	3	14	10	0	31	17	1	0	76
救 急 自 動 車	1	16	7	0	30	13	1	0	68
そ の 他 の 車 両	4	13	34	0	32	15	1	0	99
合 計	9	54	55	0	123	58	4	0	303



(尾張中北消防指令センター)

- 月別気象状況表
- 月別降雨量
- 119番受信状況

※平成28年4月から、犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、丹羽広域事務組合及び西春日井広域事務組合の6消防本部による消防通信指令業務の共同運用が開始されました。

これにより、犬山市管内からの119番通報は、小牧市消防本部敷地内に設置の「尾張中北消防指令センター」で受信しています。

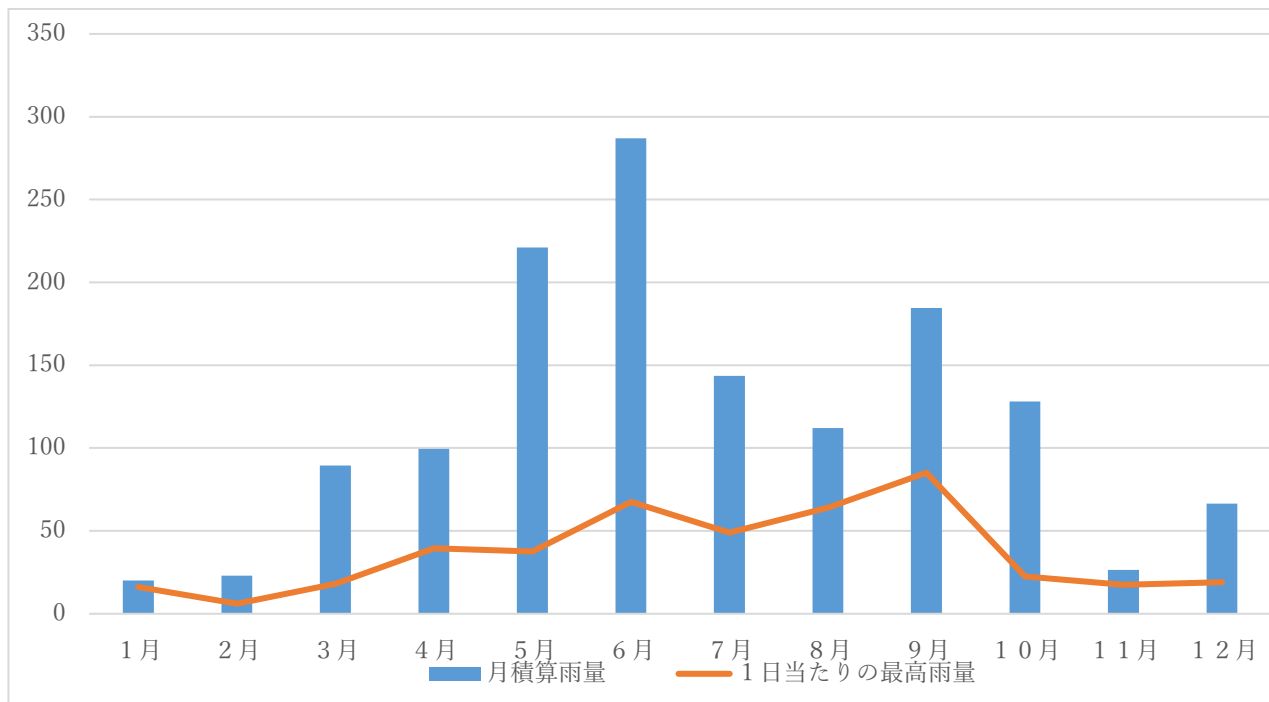
月 別 気 象 状 況 表

(令和 7 年中)

月別 区分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		平均
気 温 (℃)	最 高	14.2	14.5	23.0	28.7	30.7	37.3	37.9	37.8	36.7	31.1	22.8	18.9		
	最 低	-2.9	-4.4	-1.0	4.1	7.2	13.4	21.5	22.7	16.8	6.6	1.4	-2.3		
	平 均	4.4	3.3	9.5	14.6	18.9	24.1	28.7	29.5	26.3	19.3	11.7	7.3		16.5
湿 度 (%)	最 低	19.9	24.7	11.1	12.2	18.3	17.4	35.0	28.3	22.5	29.1	23.8	26.9		
	平 均	66.1	67.0	63.3	63.6	70.6	76.7	75.5	73.3	76.9	78.4	67.2	68.2		70.6
風 速 (m/s)	最 大	15.4	19.3	18.5	19.0	16.4	16.6	15.5	13.0	14.9	14.1	17.3	17.0		
	平 均	2.5	2.8	2.9	2.7	2.4	2.2	2.5	2.2	2.2	2.0	2.4	2.3		2.4
平均風向		北東	北東	北東	北東	北東	北東	東北東	東北東	東北東	北東	北東	北東		北東

月 別 降 雨 量

(令和7年中)



月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
区 分	月積算雨量	20.0	23.0	89.5	99.5	221.0	287.0	143.5	112.0	184.5	128.0	26.5	66.5	1401.0
	降雨日数	3	11	13	11	14	13	9	7	12	12	8	9	122
	最高(1日当たり)	16.0	6.0	18.0	39.5	37.5	67.5	49.0	64.0	85.0	22.5	17.5	19.0	

尾張中北消防指令センター 1 1 9 番受信状況 (犬 山 市)

(令和 7 年中)

区 分 月 別	火 災	救 急	救 助	火災救急救助以 外の災害事案	ま ち が い	い た ず ら	そ の 他	計
1	6	318	6	6	26	0	83	445
2	3	304	3	7	21	0	99	437
3	5	324	5	3	23	0	87	447
4	1	298	1	2	21	1	57	381
5	2	256	7	6	25	2	97	395
6	0	289	2	1	17	0	78	387
7	0	344	5	5	27	0	99	480
8	0	345	6	12	55	47	82	547
9	9	334	6	5	10	1	77	442
10	1	253	4	6	16	0	72	352
11	4	292	1	8	11	1	86	403
12	5	319	5	10	14	1	76	430
計	36	3676	51	71	266	53	993	5146